

オーバードアR

取付説明書 — 直昇電動タイプ —

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

安全のため、取付方法が変わっています。必ず確認してください。



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>



注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 取付説明書の順序通り組付けてください。製品の強度等、性能を低下させる場合が発生します。
- アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。

<電気配線工事について>

⚠ 注意

- AC100Vの電線の埋設工事, 配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- 施工には、別途過電流保護付漏電ブレーカーおよび埋設用PF管(呼び径14)、電線ケーブル、アース棒が必要となりますので、用意してください。
- 電動用電線ケーブルは必ず過電流保護付漏電ブレーカーに接続してください。
- 電動支柱(主柱)には必ずアース(D種接地工事)をとってください。

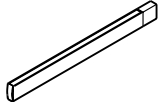
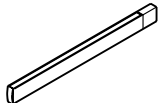
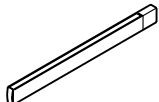



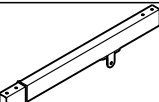
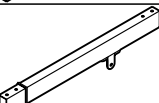
<基礎工事について>

⚠ 注意

- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によっては（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量(体積)を十分考慮してください。
- 基礎施工寸法の柱埋込み位置は、性能や耐久性、安全上重要ですので必ずお守りください。
- 塩分を含む砂および塩素系のモルタル混和剤は使用しないでください。腐食の原因になります。
- コンクリート(またはモルタル)には、急結剤を使用しないでください。使用すると腐食の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

■梱包明細書

①柱セット

名 称	略 図	員 数					
		W27・30型		ワイドオーバードア (1モーター)		ワイドオーバードア (2モーター)	
		H標準	Hハイルーフ	H標準	Hハイルーフ	H標準	Hハイルーフ
電動支柱(主柱)・標準用		1	—	1	—	1	—
電動支柱(主柱)・ハイルーフ用		—	1	—	1	—	1
電動支柱(サブ柱)・標準用		—	—	—	—	1	—
電動支柱(サブ柱)・ハイルーフ用		—	—	—	—	—	1
手動支柱(サブ柱)・標準用		1	—	1	—	—	—
手動支柱(サブ柱)・ハイルーフ用		—	1	—	1	—	—
上アーム(右)・標準用		1	—	1	—	1	—
上アーム(左)・標準用		1	—	1	—	1	—

1 つづき

名 称	略 図	員 数						
		W27・30型		ワイドオーバードア (1モーター)		ワイドオーバードア (2モーター)		
		H標準	Hハイルーフ	H標準	Hハイルーフ	H標準	Hハイルーフ	
下アーム・標準用		2	—	2	—	2	—	
上アーム (右)・ハイルーフ用		—	1	—	1	—	1	
上アーム (左)・ハイルーフ用		—	1	—	1	—	1	
下アーム (右)・ハイルーフ用		—	1	—	1	—	1	
下アーム (左)・ハイルーフ用		—	1	—	1	—	1	
渡り配線		—	—	—	—	1	1	
部 品 箱	扉取付金具 (右)		1	1	1	1	1	1
	扉取付金具 (左)		1	1	1	1	1	1
	リモコン送信器 (小箱入)		1	1	2	2	2	2
	リモコンアンテナ		1	1	1	1	1	1
	フレキカバー		1	1	1	1	2	2
	補助スプリングユニット取付ピン		2	2	2	2	2	2
	電動支柱キャップ		1	1	1	1	2	2
	手動支柱キャップ		1	1	1	1	—	—

■梱包明細書 つづき

① つづき

名称	略 図	員 数					
		W27・30型		ワイドオーバードア (1モーター)		ワイドオーバードア (2モーター)	
		H標準	Hハイルーフ	H標準	Hハイルーフ	H標準	Hハイルーフ
連結棒固定バンド		—	—	1	1	1	1
ロック穴ブッシュ		2	2	2	2	2	2
①-① M5六角袋ナット		2	2	2	2	2	2
①-② M5平座金		2	2	2	2	2	2
①-③ M6X16(+)六角ボルト (PW+SW)		32	32	32	32	32	32
①-④ φ4X12トラスタッピンネジ3種 D=8		8	8	10	10	14	14
①-⑤ φ4X10サラタッピンネジ3種		2	2	2	2	2	2
取付説明書	—	1	1	1	1	1	1
ロック穴用ブッシュ取付説明書	—	1	1	1	1	1	1
取扱説明書 (ユーザーカード付)	—	1	1	1	1	1	1

② 扉セット

名称	略 図	員 数
※扉本体		1
アーム連結棒		1

※扉本体には、扉取付金具裏板、扉取付ボルト (M8×15六角ボルト)、接地ストッパーは仮組付けしています。

③ ソーラー電源セット

名称	略 図	員 数
ソーラーパネル		1
バッテリー		1
取付説明書	—	1
取扱説明書	—	1

④ 大容量ソーラー電源セット

名称	略 図	員 数
大容量ソーラーパネル		1
大容量バッテリー		1
取付説明書	—	1
取扱説明書	—	1

⑤ ソーラーパネル取付部品セット (柱取付タイプ)

名称	略 図	員 数
柱キャップ		1
⑤-① M4X8トラス (D=8)		1

⑥ ソーラーパネル取付部品セット (ポール建てタイプ)

名称	略 図	員 数
ポール L=2400		1
⑥-① M4X8トラス (D=8)		2
アンカー棒 φ9X200		1

⑦ 大容量ソーラーパネル取付部品セット (ポール建てタイプ)

名称	略 図	員 数
ポール L=2400		1
大容量ソーラーパネル取付ブラケット		1
⑦-① M6X12六角ボルト (SW+PW)		6
⑦-② M4X8トラス (D=8)		4
アンカー棒 φ9X200		1

8]ソーラーパネル取付部品セット (カーポート取付タイプ)

名 称	略 図	員 数
カーポート用取付ベース		1
8]-① φ5×13ナベピアスネジ		4
8]-② M4×8トラス (D=8)		2
ケーブルクリップ		5

9]大容量ソーラーパネル取付部品 (カーポート取付タイプ)

名 称	略 図	員 数
カーポート用取付ベース		1
9]-① M6×12六角ボルトWセムス (SW+PW)		4
9]-② φ5×13ナベピアスネジ		8
9]-③ M4×8トラス (D=8)		4
ケーブルクリップ		5

10]ソーラー用電源ケーブルセット

名 称	略 図	員 数	
		KAR15 8m	KAR16 20m
※ソーラー用電源ケーブル (電線管付) 8m		1	—
※ソーラー用電源ケーブル (電線管付) 20m		—	1

※ソーラー電源を使用する場合、必ず必要です。

11]トランス電源ユニットセット

名 称	略 図	員 数	
		35W	60W
トランス電源ユニット 35Wタイプ		1	—
トランス電源ユニット 60Wタイプ		—	1
取扱説明書	—	1	1

12]トランス用電源ケーブルセット

名 称	略 図	員 数	
		KAR17 10m	KAR18 20m
※トランス用電源ケーブル (電線管付) 8m		1	—
※トランス用電源ケーブル (電線管付) 20m		—	1
Y字端子		2	2

※トランス電源を使用する場合、必ず必要です。

13]オプション
オプション

名 称	略 図
リモコン送信器 MDC-3 (KYZ73)	
リモコンアンテナ延長ケーブルセット (ケーブル長3m) (KYZ81)	
外部押しボタンスイッチセット (KUK51)	
交換用バッテリー (KAR22)	
大容量交換用バッテリー (KAR23)	
トランス電源ユニット用スタンド	
ロング接地ストッパーセット (+100mm) 電動用 (KNF79)	
押しボタンスイッチカバー	

1. 各部の名称および基本寸法図

1-1 ソーラー・トランス仕様、AC100V仕様共通

(1) オーバードアR (W27・30型)

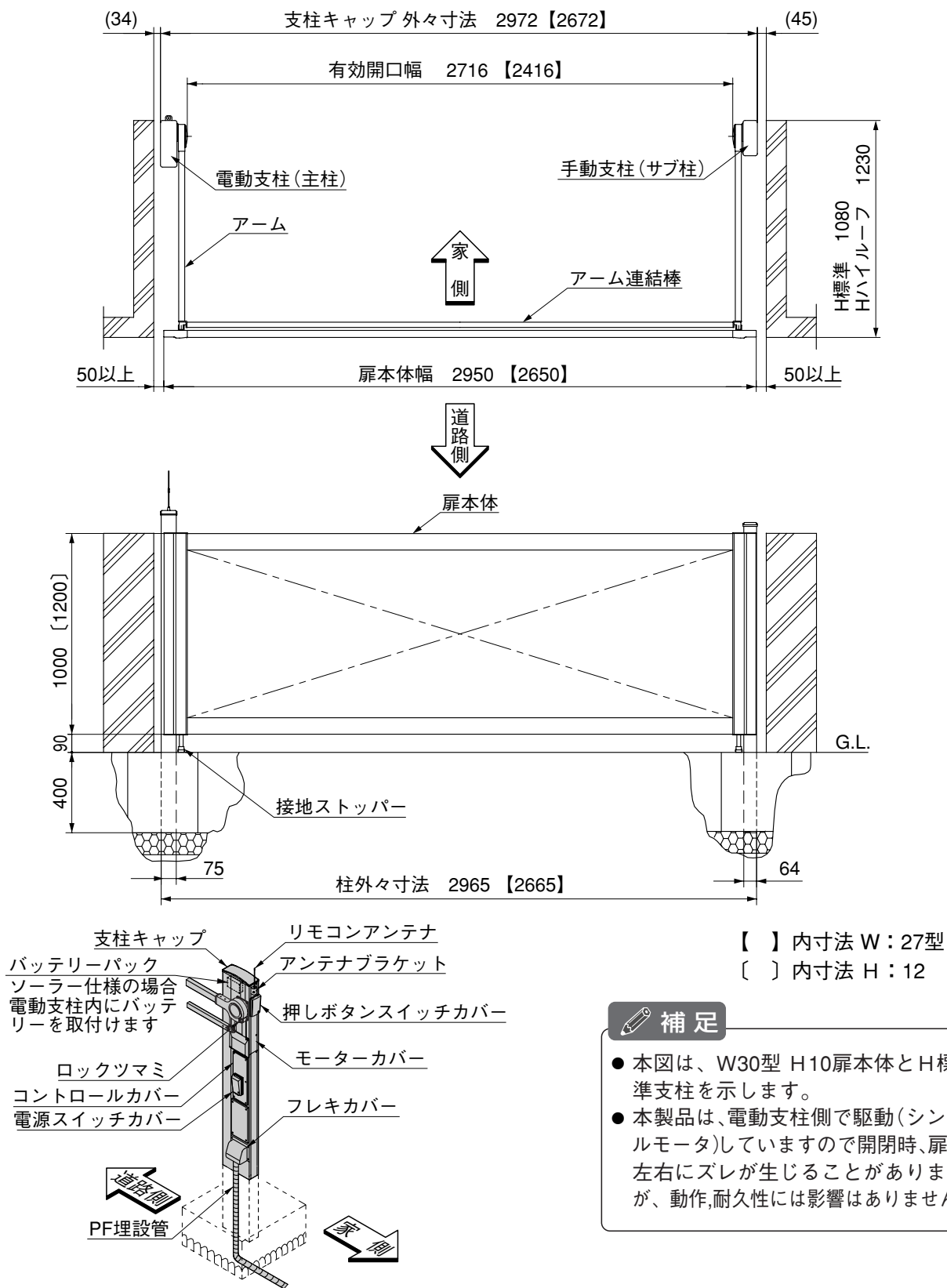
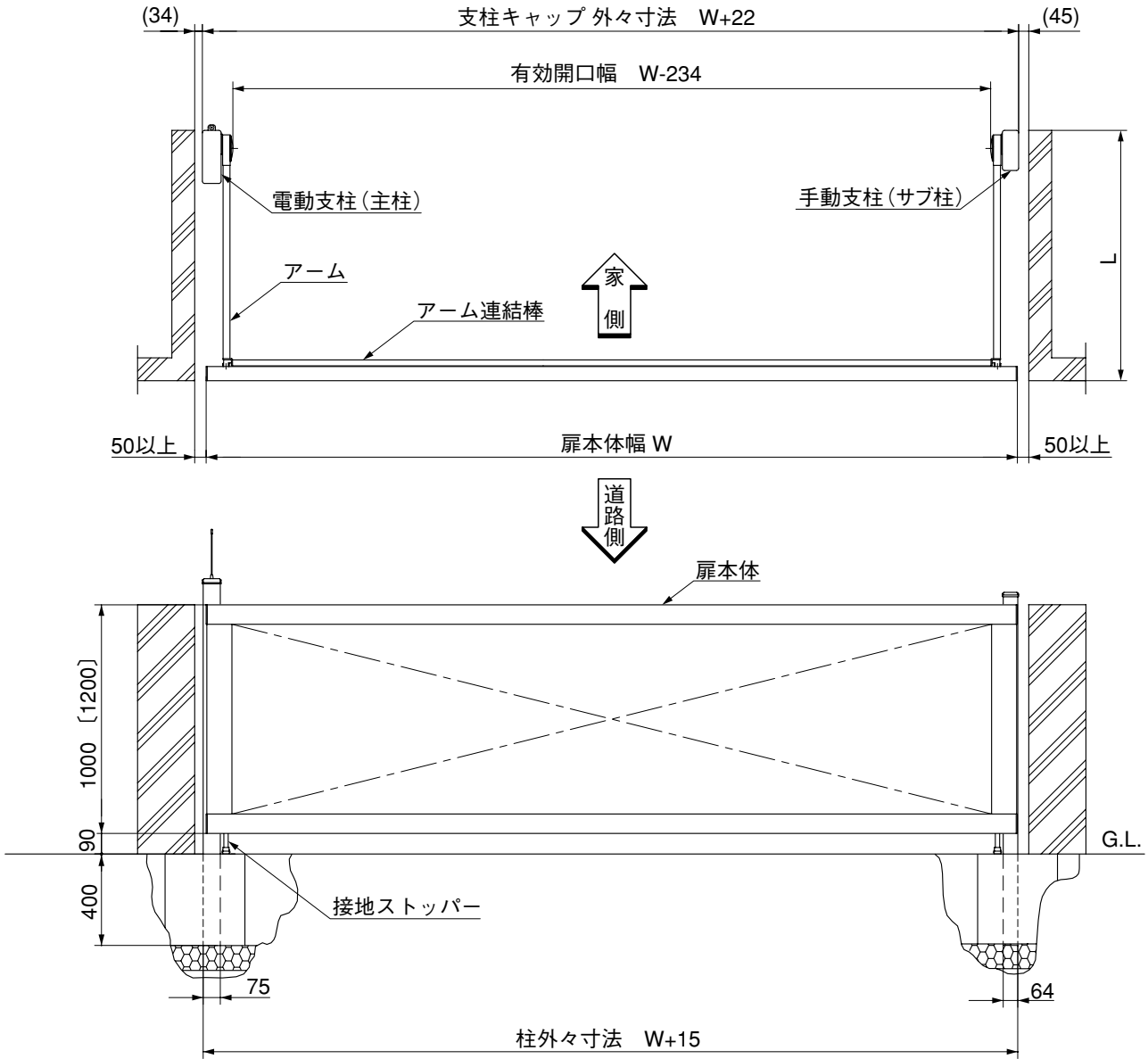


図1-1 電動支柱詳細図

(2) ワイドオーバードアR (W33~54型) 1モータ仕様
 オーバードアR プログコート1型 (W27・30型)



[] 内寸法 H : 12

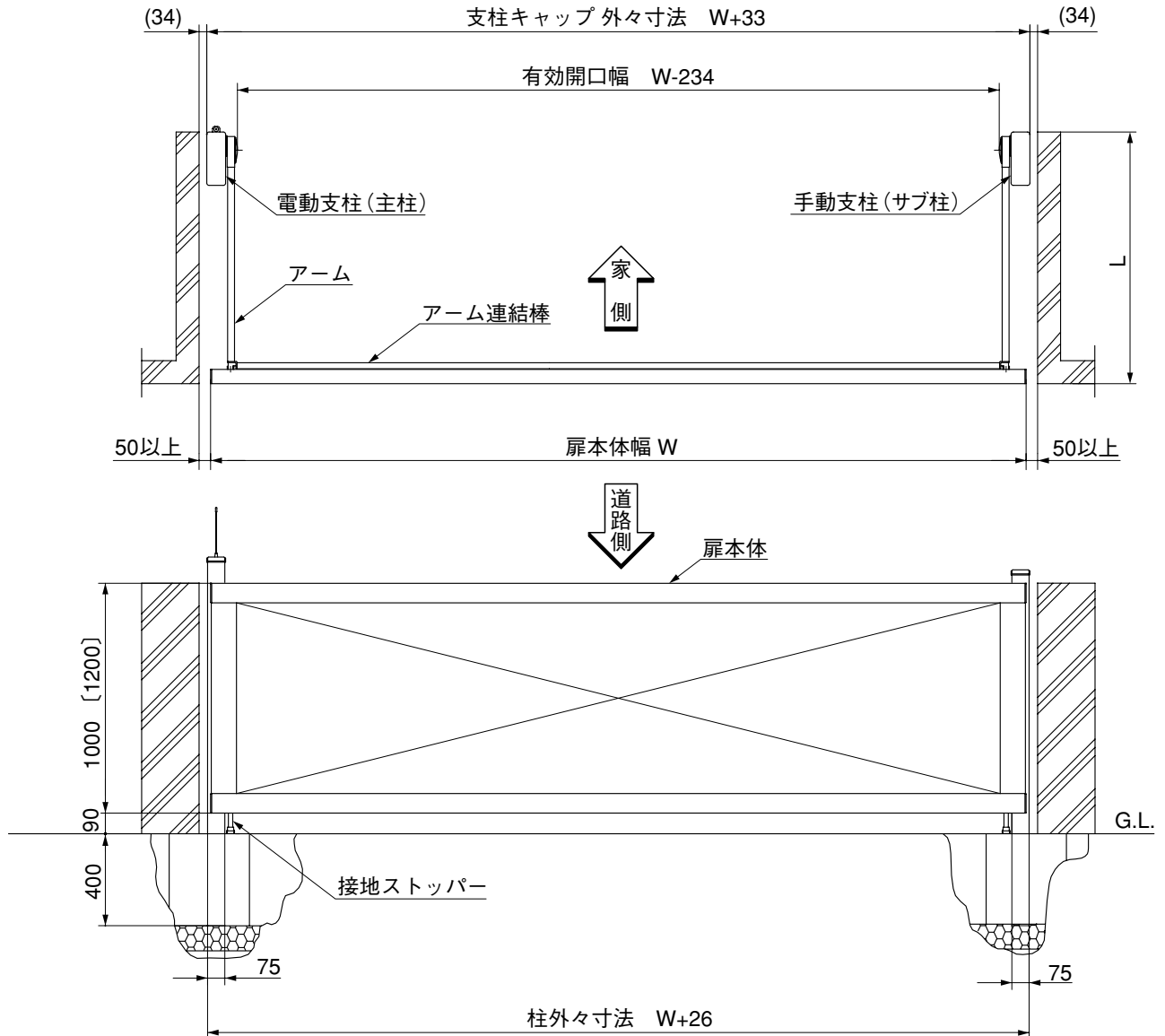
サイズ	扉本体幅W	柱外々寸法	有効開口幅	L	
				H標準	Hハイルーフ
27型	2650	2665	2416	1105	1256
30型	2950	2965	2716		
33型	3250	3265	3016	1092	1243
36型	3550	3565	3316		
39型	3850	3865	3616		
42型	4150	4165	3916		
45型	4450	4465	4216		
48型	4750	4765	4516		
51型	5050	5065	4816		
54型	5350	5365	5116		

補足

- 本図は、W51型 H10扉本体とH標準支柱を示します。
- 本図本製品は、電動支柱側で駆動(シングルモータ)していますので開閉時、扉の左右にズレが生じることがありますが、動作、耐久性には影響はありません。

1. つづき

(3) ワイドオーバードアR (W33~60型) 2モータ仕様 オーバードアR プログコート1型 (W27・30型)



[] 内寸法 H : 12

サイズ	扉本体幅W	柱外々寸法	有効開口幅	L	
				H標準	Hハイルーフ
27型	2650	2676	2416	1105	1256
30型	2950	2976	2716		
33型	3250	3276	3016	1092	1243
36型	3550	3576	3316		
39型	3850	3876	3616		
42型	4150	4176	3916		
45型	4450	4476	4216		
48型	4750	4776	4516		
51型	5050	5076	4816		
54型	5350	5376	5116		
57型	5650	5676	5416		
60型	5950	5976	5716		

補足

- 本図は、W51型 H10扉本体とH標準支柱を示します。

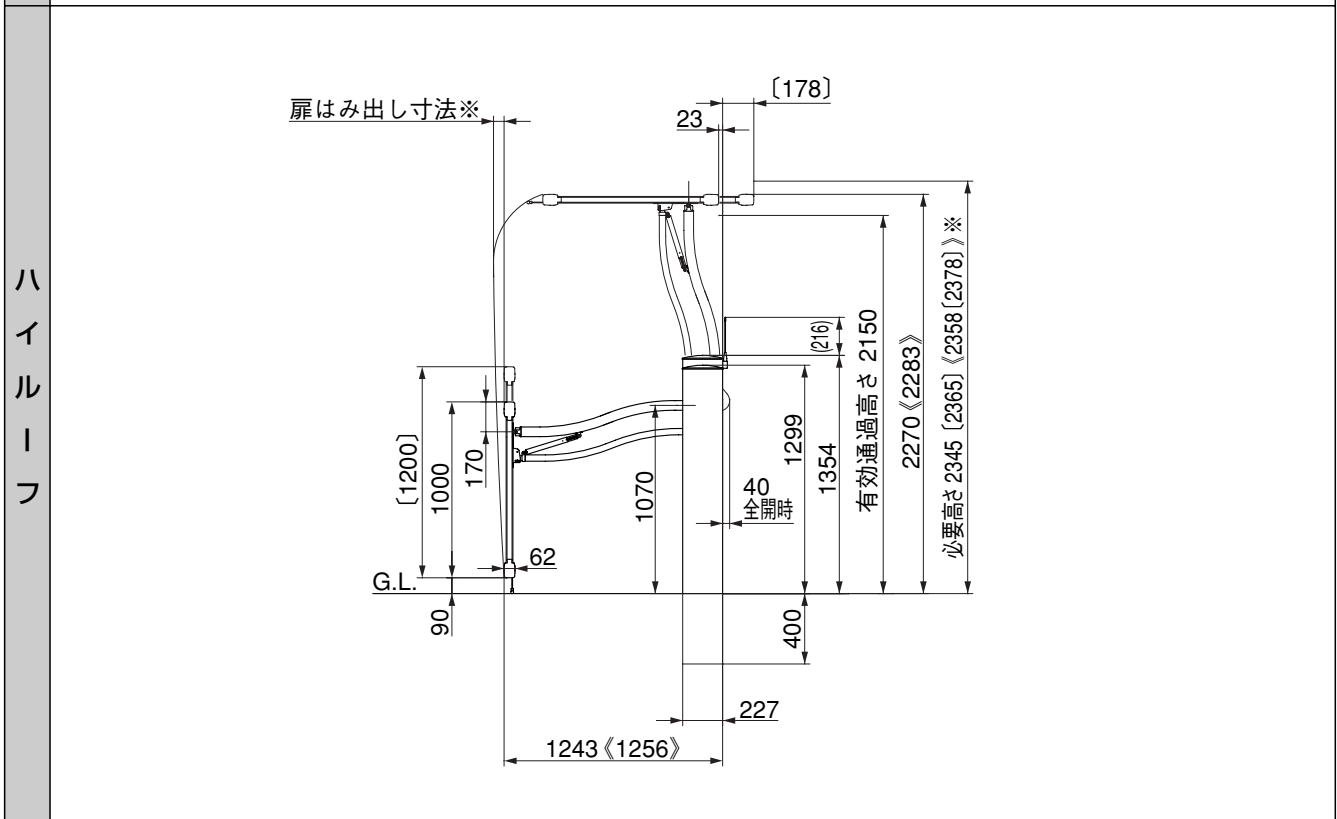
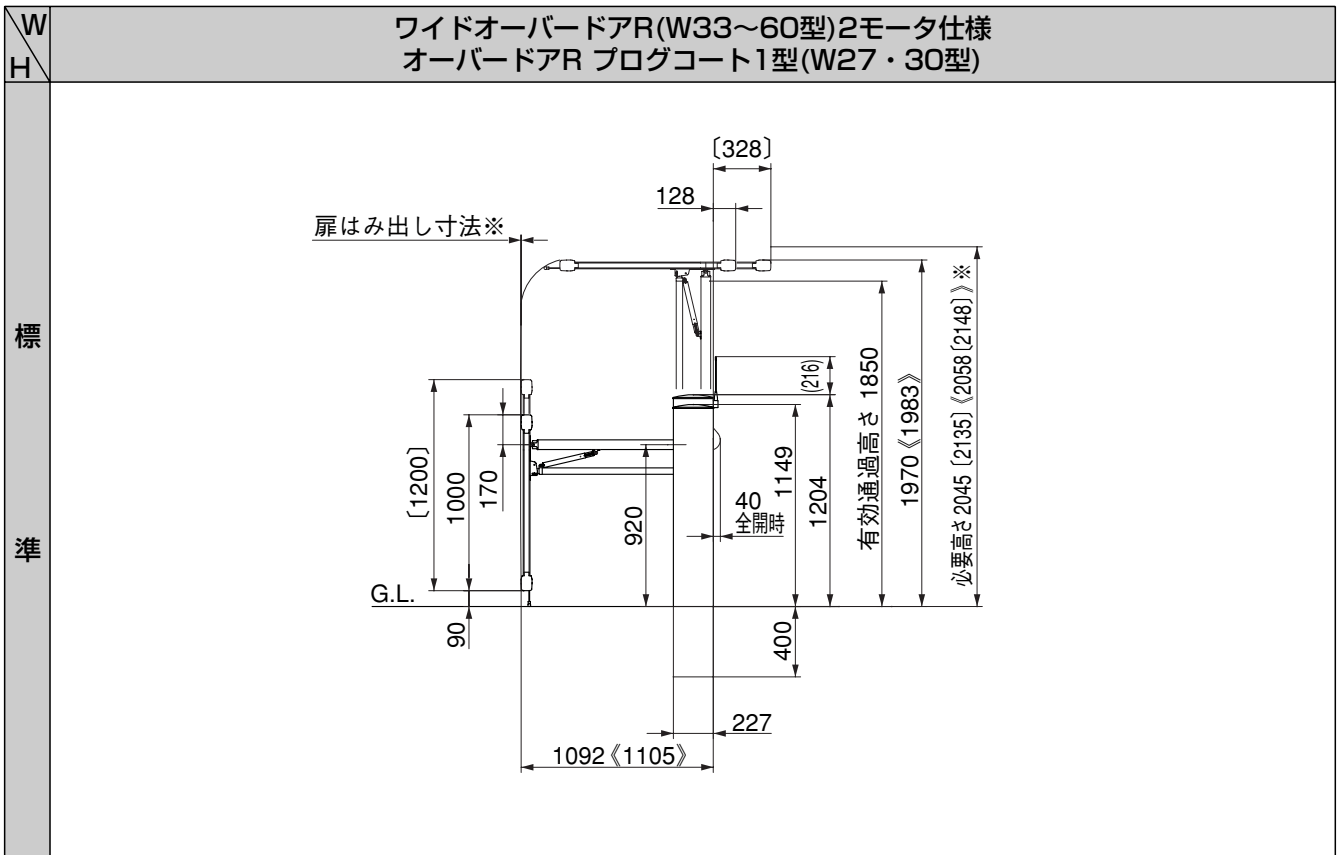
(4) 側面図 ※〔 〕内寸法は扉本体H12の場合・〈 〉内寸法はプログコート1型の場合

W H	オーバードアR(W27・30型)	ワイドオーバードアR(W33~60型) オーバードアR プログコート1型(W27・30型)
標 準	<p>扉はみ出し寸法※</p> <p>〔1200〕</p> <p>1000</p> <p>170</p> <p>920</p> <p>38</p> <p>90</p> <p>1080</p> <p>170</p> <p>227</p> <p>400</p> <p>〔328〕</p> <p>128</p> <p>40 全開時</p> <p>1145</p> <p>1204</p> <p>〔216〕</p> <p>有効通過高さ 1850</p> <p>1958</p> <p>必要高さ 2030〔2120〕※</p>	<p>扉はみ出し寸法※</p> <p>〔1200〕</p> <p>1000</p> <p>170</p> <p>920</p> <p>90</p> <p>1092〔1105〕</p> <p>170</p> <p>227</p> <p>400</p> <p>〔328〕</p> <p>128</p> <p>40 全開時</p> <p>1145</p> <p>1204</p> <p>〔216〕</p> <p>有効通過高さ 1850</p> <p>1970〔1983〕</p> <p>必要高さ 2045〔2135〕〈2058〔2148〕〉※</p>
ハ イ ル ー フ	<p>扉はみ出し寸法※</p> <p>〔1200〕</p> <p>1000</p> <p>170</p> <p>1070</p> <p>38</p> <p>90</p> <p>1230</p> <p>170</p> <p>227</p> <p>400</p> <p>〔178〕</p> <p>23</p> <p>40 全開時</p> <p>1295</p> <p>1354</p> <p>〔216〕</p> <p>有効通過高さ 2150</p> <p>2258</p> <p>必要高さ 2330〔2360〕※</p>	<p>扉はみ出し寸法※</p> <p>〔1200〕</p> <p>1000</p> <p>170</p> <p>1070</p> <p>90</p> <p>1243〔1256〕</p> <p>170</p> <p>227</p> <p>400</p> <p>〔178〕</p> <p>23</p> <p>40 全開時</p> <p>1295</p> <p>1354</p> <p>〔216〕</p> <p>有効通過高さ 2150</p> <p>2270〔2283〕</p> <p>必要高さ 2345〔2365〕〈2358〔2378〕〉※</p>

※扉はみ出し寸法、必要高さ寸法は、扉垂直調整や施工精度などにより大きく変わります。扉の軌跡上に障害物がないことを確認して施工してください。詳細寸法は「2-4 扉はみ出し寸法・必要高さ寸法について」を参照してください。

1. つづき

(4) つづき ※〔 〕内寸法は扉本体H12の場合・〈 〉内寸法はプログコート1型の場合



※扉はみ出し寸法、必要高さ寸法は、扉垂直調整や施工精度などにより大きく変わります。扉の軌跡上に障害物がないことを確認して施工してください。詳細寸法は「2-4 扉はみ出し寸法・必要高さ寸法について」を参照してください。

1-2 オーバードアR、ワイドオーバードアR

(1) ソーラー仕様 柱取付タイプ

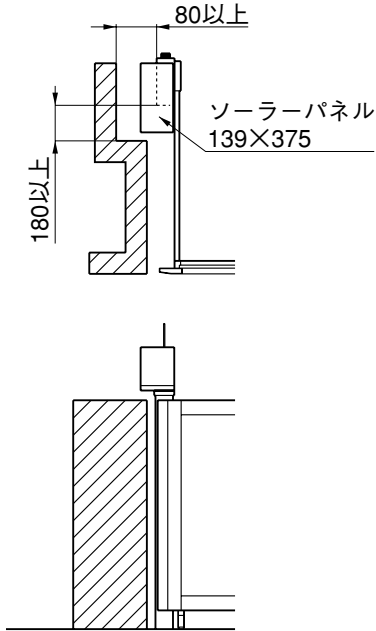


図1-2 柱取付タイプ納まり図

ソーラーパネル139×375

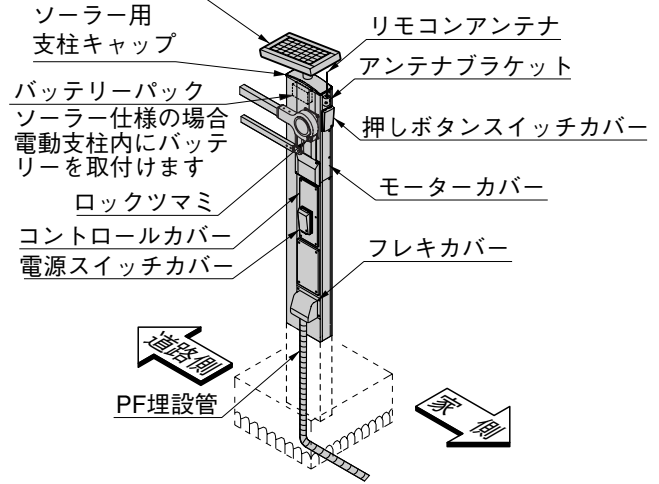


図1-3 電動支柱詳細図

注意

- 電動柱側はソーラーパネルが取付きますので、図1-2を確認のうえ、施工してください。

(2) 柱取付タイプ納まり図

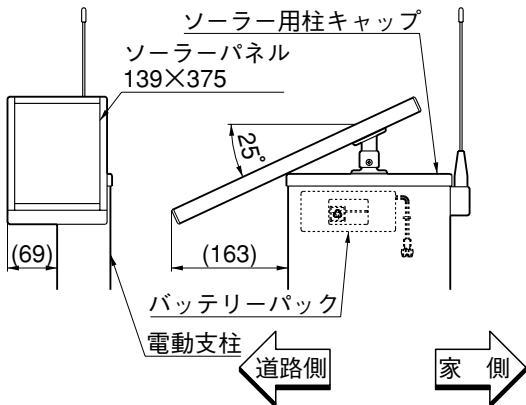


図1-4 パターン-1

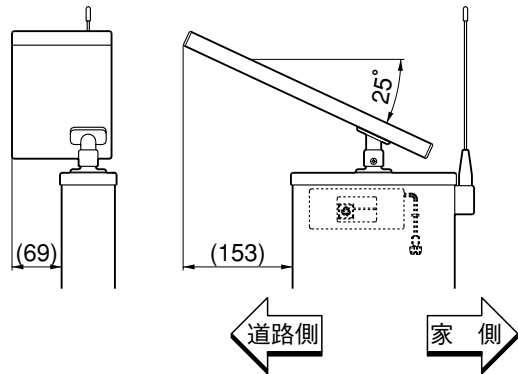


図1-5 パターン-2

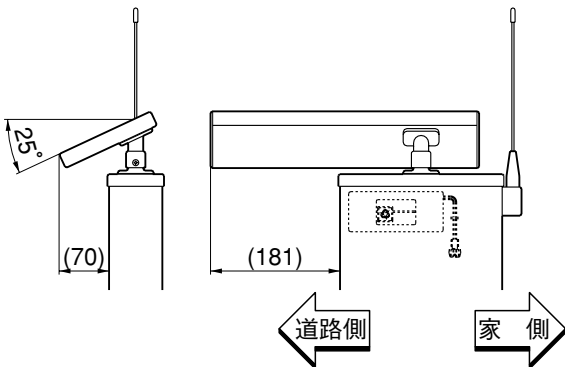


図1-6 パターン-3

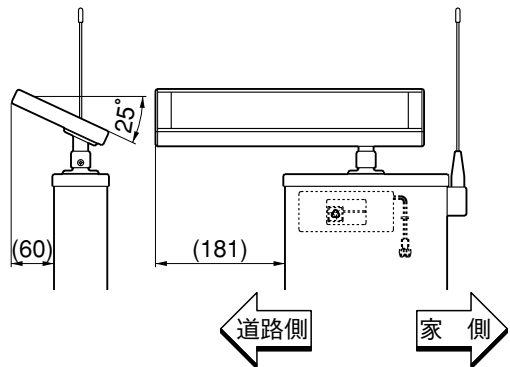
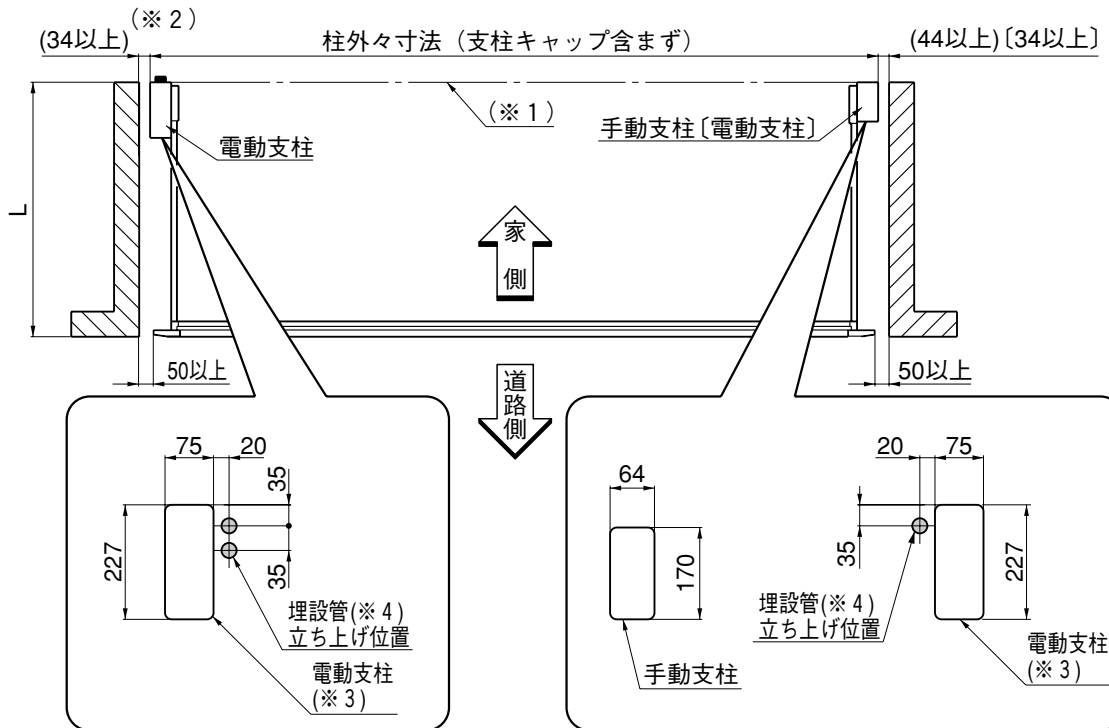


図1-7 パターン-4

2. 基礎施工図

2-1 施工寸法図

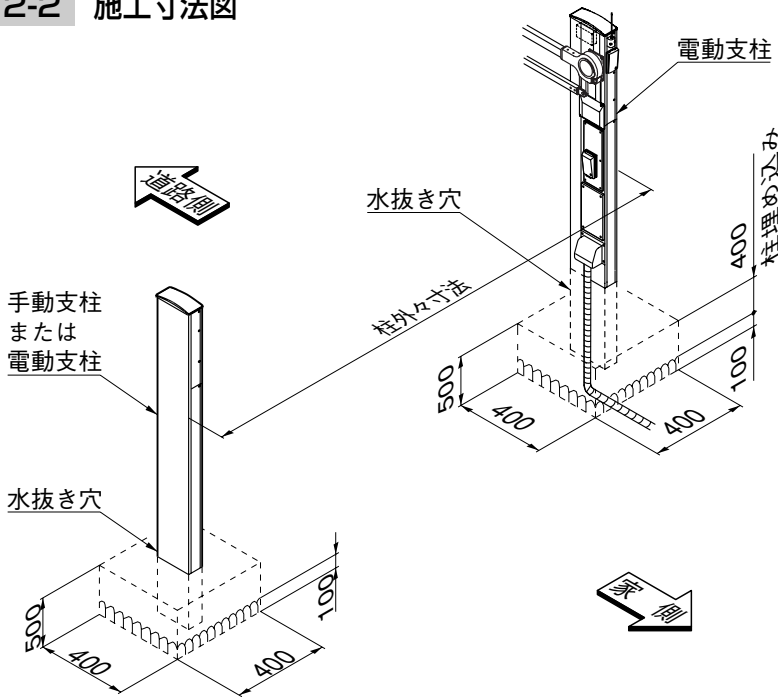


	サイズ	柱外々寸法	L	
			H標準	Hハイルーフ
オーバードア	27型	2665	1080	1230
	30型	2965	1080	1230
プログコート1型 1モーター	27型	2665	1105	1256
	30型	2965	1105	1256
プログコート1型 2モーター	27型	2676	1105	1256
	30型	2976	1105	1256
ワイドオーバードア 1モーター	33型	3265	1092	1243
	36型	3565	1092	1243
	39型	3865	1092	1243
	42型	4165	1092	1243
	45型	4465	1092	1243
	48型	4765	1092	1243
	51型	5065	1092	1243
ワイドオーバードア 2モーター	54型	5365	1092	1243
	33型	3276	1092	1243
	36型	3576	1092	1243
	39型	3876	1092	1243
	42型	4176	1092	1243
	45型	4476	1092	1243
	48型	4776	1092	1243
	51型	5076	1092	1243
54型	5376	1092	1243	
57型	5676	1092	1243	
60型	5976	1092	1243	

ポイント

- 柱の家側を一直線上にしてください。(※1)
- ソーラー仕様柱取付タイプの場合、電動支柱にソーラーパネルが取付きますので、5ページ「柱取付けタイプ納まり図」を確認のうえ、施工してください。(※2)
- 電動支柱側に電源用の配管が必要になります。ただし、ソーラー仕様柱取付タイプの場合は必要ありません。(※3)
- 埋設管はG.L.から60mm以上立ち上げてください。(※4)

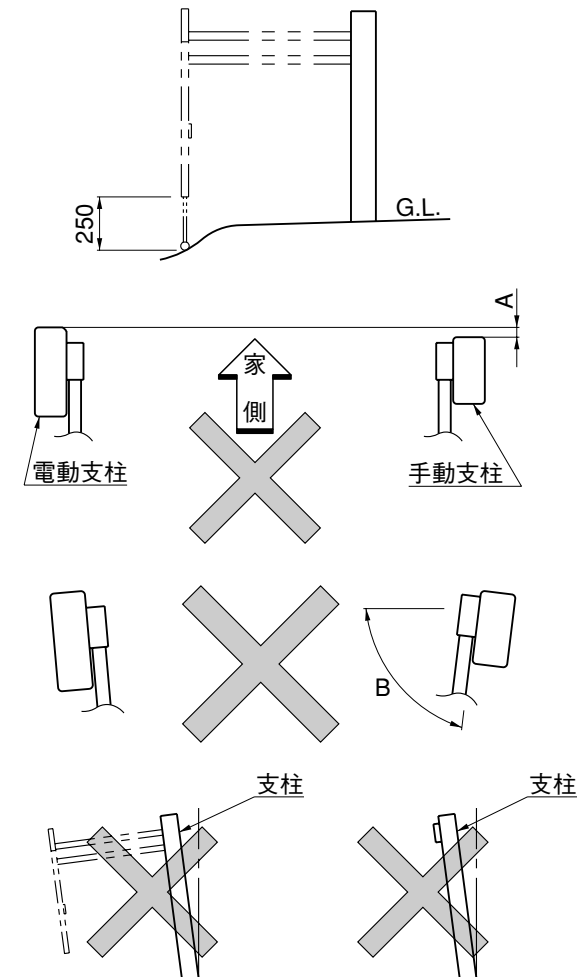
2-2 施工寸法図



⚠ 注意

- 基礎施工寸法の柱埋込み位置は、性能や耐久性、安全上重要ですので必ず守ってください。
- 支柱の埋込み位置・高さ・垂直度・水平度を十分に調整してください。調整が不十分な場合、扉の作動に支障が生じる事があります。
- 水抜き穴は確実にG.L面より上に出してください。水抜き穴より上までモルタルを入れると中に水がたまり、故障の原因になります。

2-3 施工時の注意



🔑ポイント

- 水切勾配がある所に施工するときは、支柱埋込位置と扉取付位置との均配差をできるだけ少なくしてください。接地ストッパーは最大250mmまで調整できます。それ以上すき間があるときは、オプションのロング接地ストッパーセットを使用してください。+100mmまで対応可能です。

🔑ポイント

- 左右の支柱が前後にずれないように施工してください。
- A寸法は0mmを守ってください。

🔑ポイント

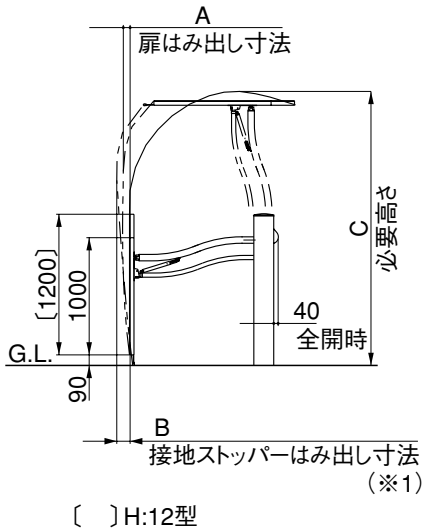
- 左右の支柱を平行に、施工してください。
- Bの角度は90°を守ってください。

🔑ポイント

- 左右の支柱を水準器で確認し、垂直に施工してください。

2. つづき

2-4 扉はみ出し寸法・必要高さ寸法について ※ワイドオーバードアR／オーバードアRを施工する際に、以下の寸法に注意してください。



扉、接地ストッパーはみ出し寸法

		A		B	
		標準値	最大値	標準値	最大値
レギュラー	標準	11	42	73	92
	ハイルーフ	60	96	109	133
ワイド (またはプロコート型)	標準	1	40	61	80
	ハイルーフ	53	90	97	121

※表内の標準値は、扉とアームを正規の寸法で施工した場合です。
 ※障害物がある場合、各寸法の最大値+50mm以上のクリアランスが必要です。

必要高さ寸法

		C		
			標準値	最大値
レギュラー	標準	H:10	2030	2071
		H:12	2120	2120
	ハイルーフ	H:10	2330	2371
		H:12	2360	2371
ワイド	標準	H:10	2045	2080
		H:12	2135	2135
	ハイルーフ	H:10	2345	2380
		H:12	2365	2380
プロコート1型	標準	H:10	2058	2093
		H:12	2148	2148
	ハイルーフ	H:10	2358	2393
		H:12	2378	2393

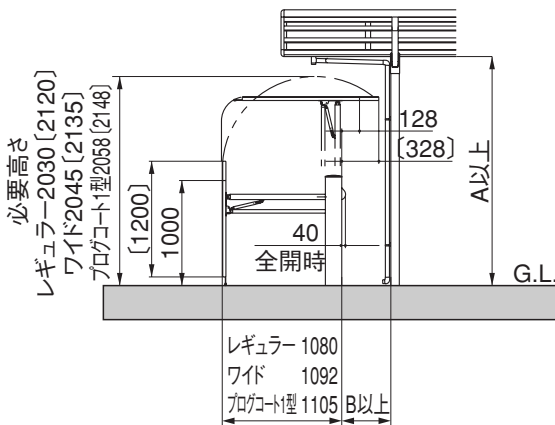
※表内の数値は、扉とアームを正規の寸法で施工した場合です。
 ※障害物がある場合、最大値+50mm以上のクリアランスが必要です。

ポイント

- 扉のはみ出し寸法と必要高さ寸法は、扉の垂直調整や施工精度などにより大きく変わります。扉の軌跡上に障害物がないことを確認してください。
- 接地ストッパーは框(下枠)より90mm(※1)伸ばした状態です。接地ストッパーを調整し90mm以上に伸ばした場合、B寸法は大きくなります。最大250mmまで調整可能ですが、その場合、B寸法に+145mm加算してください。

2-5 オーバードアとカーポートの組み合わせ寸法 ※カーポートの桁下に納める場合の寸法です。

(1) オーバードア標準タイプの場合 ※カーポートはロング柱(+500)が必要です。
ネオフォルムハイポートのロング柱は+400です。



[] H:12型

	G.L.雨樋桁下		H10		H12		
	標準柱使用	ロング柱使用	A	B	A	B	
キューブポート・キューブポートプラス	2,219	2,519	2,118	230	2,208	430	
キューブポートワイド・キューブポートプラスワイド	2,224	2,492	2,133	230	2,223	430	
メジャーポートIIタイプレギュラー	1,906	2,406	2,230	230	2,320	430	
メジャーポートIIタイプワイド	1,890	2,390					
メジャーポートIIタイプレギュラー	1,908	2,408					
メジャーポート ストロング	1,924	2,424					
ネオフォルム ハイポート	2,340	2,740	2,340	230	2,430	430	
ライブポート1500	1,911	2,411	2,210	230	2,300	430	
Nポート	1,892	2,392					
ライブポート	1,895	2,395	2,200	230	2,290	430	
ルネスポート	1,912	2,412					
フリーポートIIレギュラー	1,407.5	1,907.5	1,684	230	1,774	430	
フリーポートIIワイド							
パークポート	1,813	2,313	2,190	230	2,280	430	
システムポート	2,300	2,600	2,290	230	2,380	430	
リードポート1型・2型	2,000	2,500	2,340	230	2,430	430	
プロポート	2,000	2,500	2,090	230	2,180	430	
ウインスリーポート	4本柱	2,283	2,483	2,036	230	2,064	430
	6・8本柱	2,315	2,515	2,194	230	2,222	430
エニーポート	2,150	2,650	2,290	230	2,380	430	

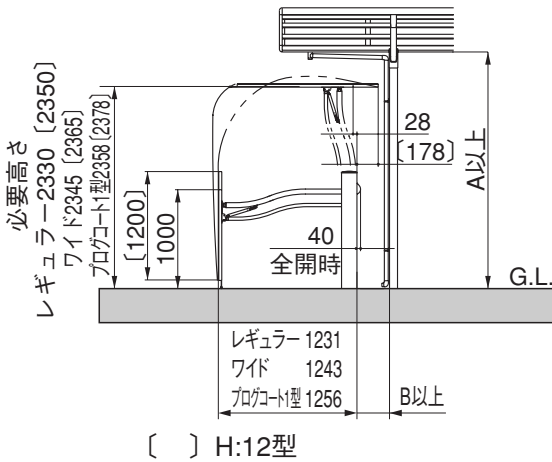
ポイント

- 扉とアームの取付位置を正規の寸法で施工した場合の数値です。
- B寸法(カーポート～オーバードア柱寸法)は全開時に扉が柱からはみ出す寸法+100mm以上必要です。
- フリーポートIIレギュラー・ワイドはオーバードア本体が、カーポートの柱外側から100mm内側に入った位置で設定しています。またA寸法は雨樋の桁下寸法を記入していますが、オーバードアは雨樋桁下に納まるのではなく、桁下をさけた屋根下に納まります。
- ウッディーポートは、オーバードアを桁下には施工できません。カーポートの外に出して施工してください。

2. つづき

2-5 つづき

(2) オーバードアハイルーフタイプの場合 ※カーポートはロング柱(+1000)が必要です。



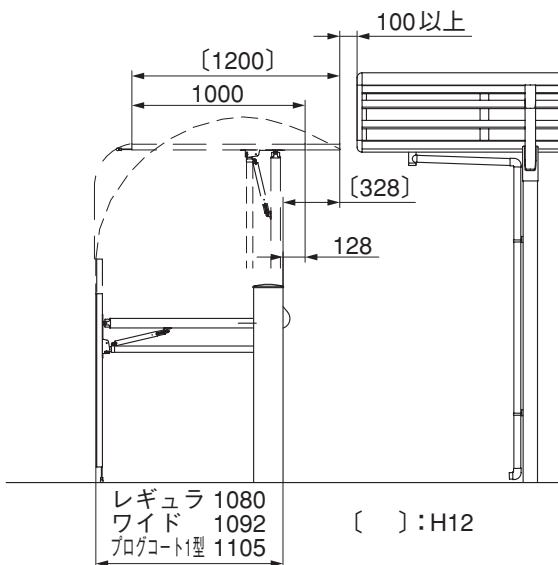
	G.L.雨樋桁下		H10		H12	
	標準柱使用	ロング柱使用	A	B	A	B
キューポート・キューポートプラス	2,519 (ロング柱)		2,418	200	2,448	280
キューポートワイド・キューポートプラスワイド	2,492 (ロング柱)		2,401	200	2,421	280
メジャーポートⅡRタイプレギュラー						
メジャーポートⅡRタイプワイド	+640以上	+670以上	2,530	200	2,560	280
メジャーポートⅡFタイプレギュラー						
ネオフォルム ハイポート	2,605 (ロング柱)		2,634	200	2,654	280
フリーポートⅡレギュラー	+577以上	+607以上	1,984	200	2,014	280
フリーポートⅡワイド						
パークポート	+677以上	+707以上	2,490	200	2,520	280
システムポート	2,600 (ロング柱)		2,590	200	2,600	280
プロポート	2,500 (ロング柱)		2,390	200	2,420	280
ウインスリーポート	4本柱	2,983	2,725	200	2,743	280
	6・8本柱	3,015	2,883	200	2,901	280
エニーポート	2,650 (ロング柱)		2,590	230	2,620	280

ポイント

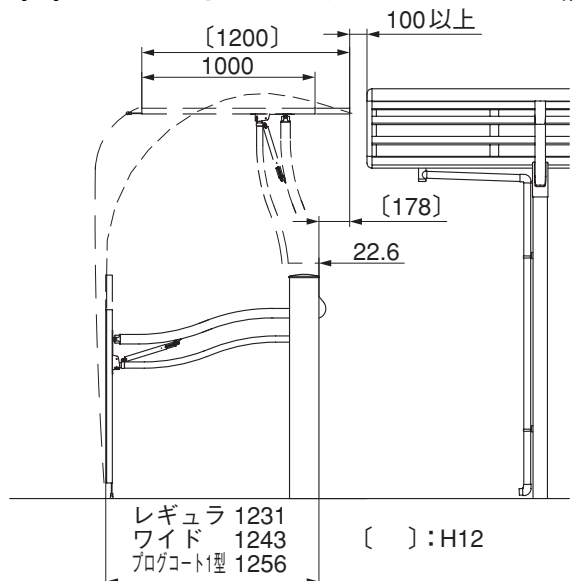
- 扉とアームの取付位置を正規の寸法で施工した場合の数値です。
- B寸法(カーポート～オーバードア柱寸法)は全開時に扉が柱からはみ出す寸法+100mm以上必要です。
- フリーポートⅡレギュラー・ワイドはオーバードア本体が、カーポートの柱外側から100mm内側に入った位置で設定しています。またA寸法は雨樋の桁下寸法を記入していますが、オーバードアは雨樋桁下に納まるのではなく、桁下をさけた屋根下に納まります。

2-6 オーバードアとカーポートの組合せ寸法 ※カーポートの外に出す場合の寸法です。

(1) オーバードア標準タイプの場合



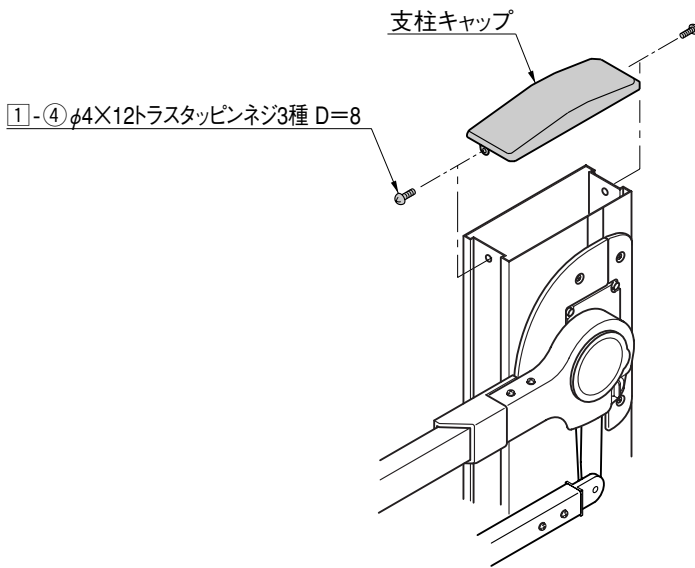
(2) オーバードアハイルーフタイプの場合



ポイント

- カーポート桁からオーバードア全開時の扉とのすきまは、100mm以上のクリアランスが必要です。
- 扉とアームの取付位置を正規の寸法で施工した場合の数値です。

3. 支柱キャップの取付け



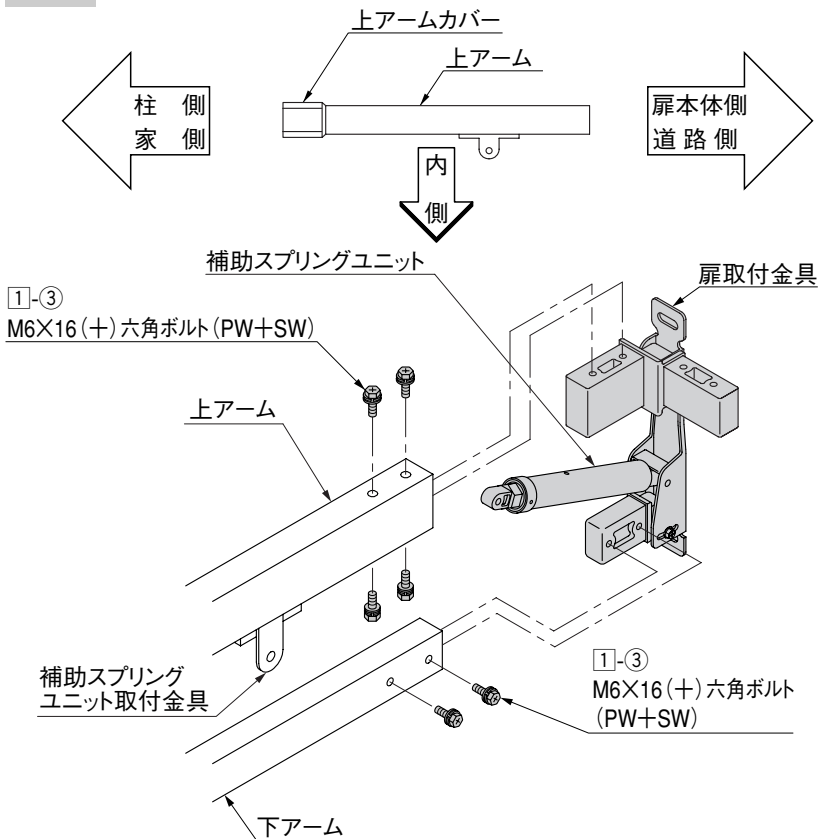
- 支柱に、それぞれ支柱キャップを①-④で取付けてください。

⚠ 注意

- 支柱を埋設する前に必ず支柱キャップを取付けてください。支柱内に雨水が入り、故障の原因になります。

4. 扉取付金具の取付け

4-1 標準の場合



- 1 扉取付金具(右)(左)に上・下アームを、それぞれ①-③で取付けてください。

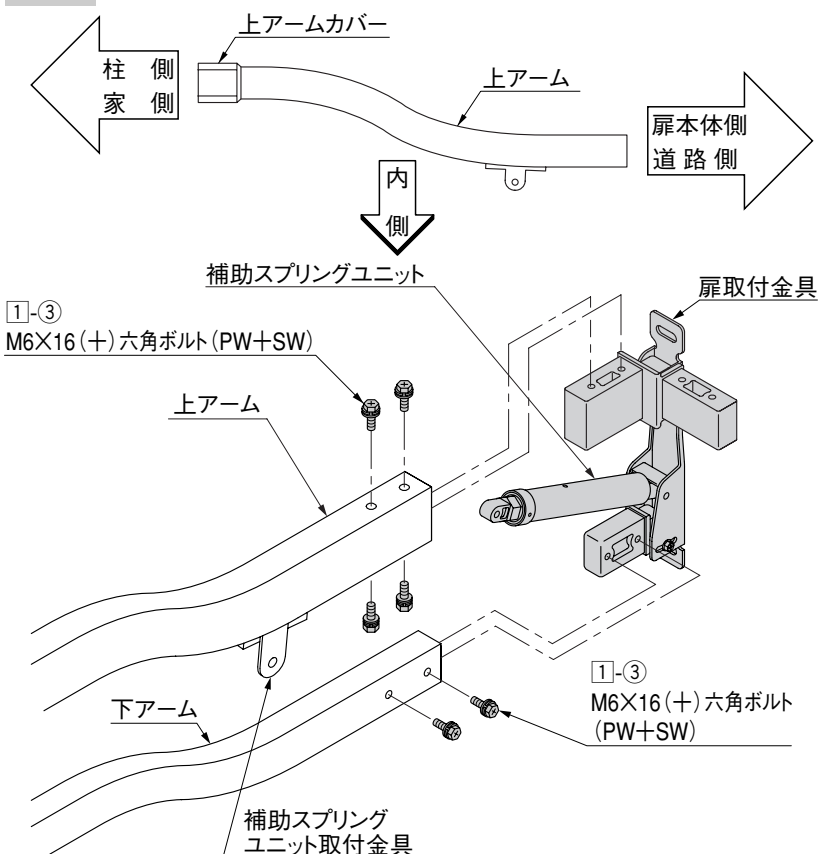
ポイント

- 上アームには柱側扉側の向きと左右がありますので、確認の上、取付けてください。

注意

- 上アームを取付ける六角ボルトはスパナを用い、しっかり締めつけてください。しっかり締めつけないと開閉の際、扉がねじれる原因になります。

4-2 ハイルーフの場合



- 1 扉取付金具(右)(左)に上・下アームを、それぞれ①-③で取付けてください。

ポイント

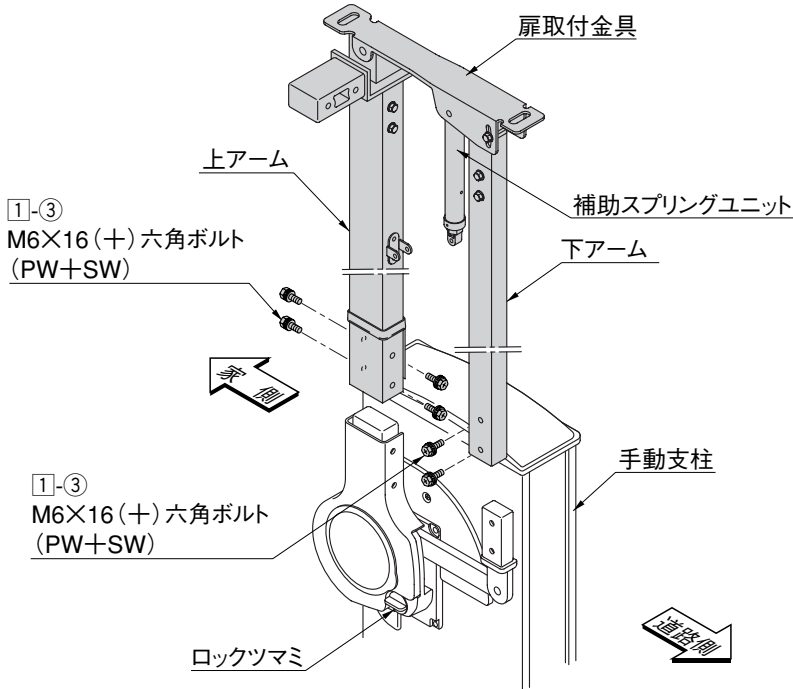
- 上アームには柱側扉側の向きと左右がありますので、確認の上、取付けてください。

注意

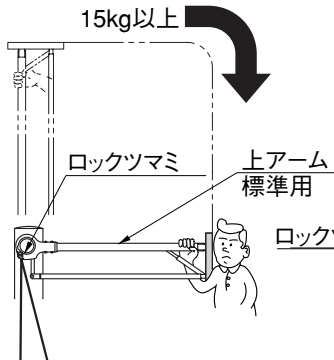
- 上アームを取付ける六角ボルトはスパナを用い、しっかり締めつけてください。しっかり締めつけないと開閉の際、扉がねじれる原因になります。

5. アームの取付け

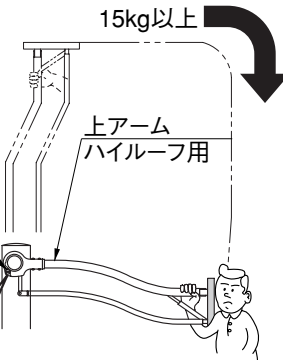
5-1 手動支柱のアームの取付け



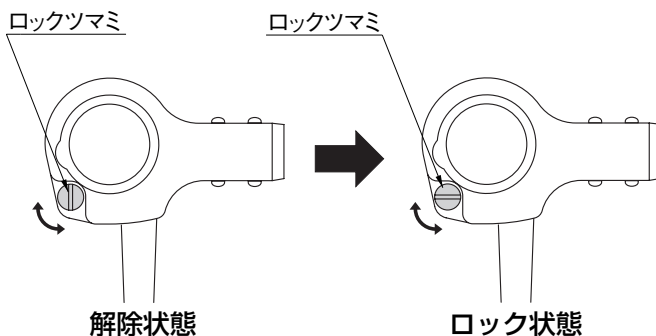
(1) 標準の場合



(2) ハイルーフの場合



ロックツマミを押し込んで、ツマミが水平な状態になるまで回してください。



- 1 扉取付金具を取付けた上・下アームを、それぞれ①-③で取付けてください。

ポイント

- 扉取付金具には左右がありますので確認の上、取付けてください。

- 2 アームを取付けた後、上アームが水平になるように回転してください。

注意

- 必ずロック解除状態でアームを回転してください。
- できるだけ上アームの先端を握って回転してください。握る位置が支柱に近づくほど大きな力が必要です。
- アームを回転するには15kg以上の力が必要です。アームの回転の途中で手を離すとアームが跳ね上がり、ケガをしたり駆動部が破損するおそれがあります。

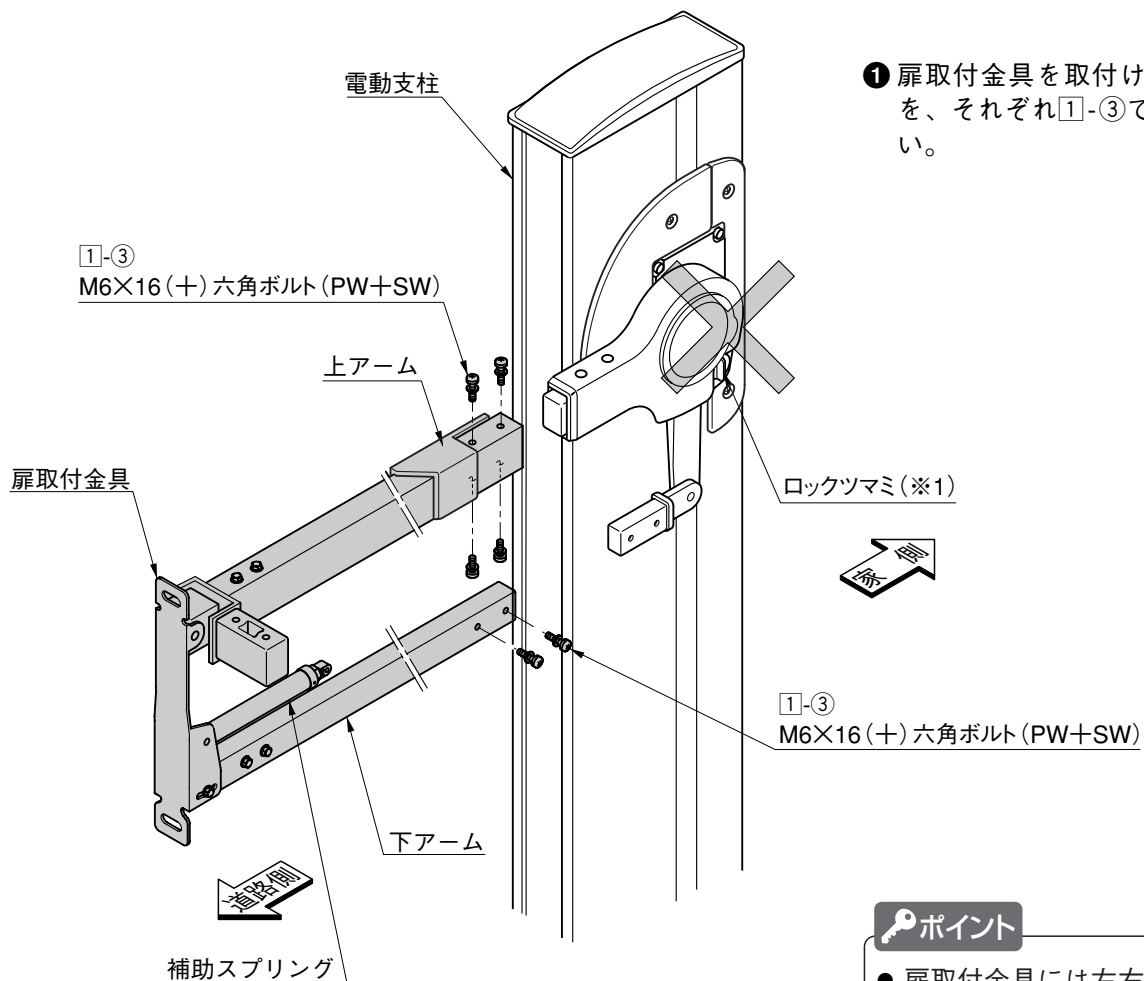
- 3 上アームが水平な状態で、ロックツマミを押し込んでアームをロックしてください。

注意

- 扉の取付けが終わるまでロックは解除しないでください。ロックを解除するとアームが跳ね上がり危険です。ケガをしたり、駆動部が破損するおそれがあります。

5. つづき

5-2 電動支柱のアーム取付け



- 1 扉取付金具を取付けた上・下アームを、それぞれ1-③で取付けてください。

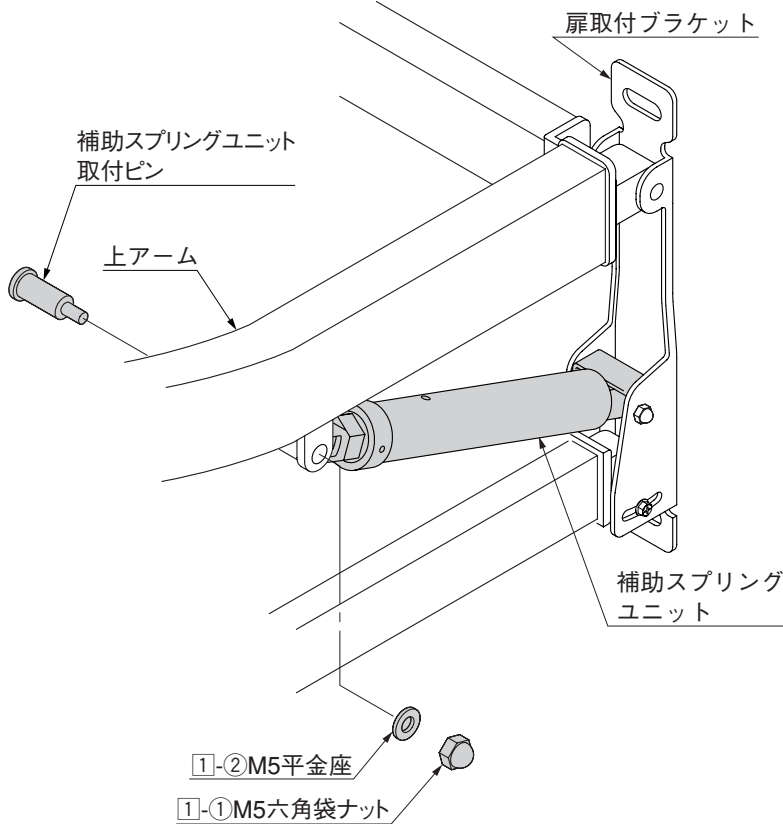
ポイント

- 扉取付金具には左右がありますので確認の上、取付けてください。

注意

- 扉の取付けが終わるまでロックは解除しないでください。ロックを解除するとアームが跳ね上がりケガをしたり、駆動部が破損してしまいます。(※1)

6. 補助スプリングユニットの取付け



- 1 上アームを少し下側に押し込み、補助スプリングユニットおよび上アームの取付金具の穴へ補助スプリングユニット取付ピンを挿入してください。

ポイント

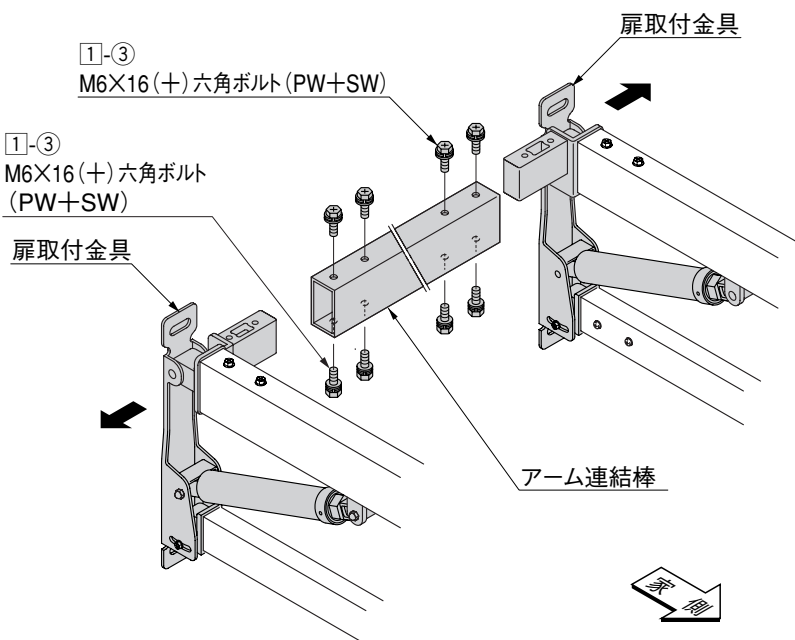
- バネの力により上側へアームが向いている為下側へ押し、アームを水平にして挿入してください。

- 2 1-2と1-1を確実に締めこんでください。

ポイント

- 1-1、1-2をスパナを用いて確実に締め込んでください。

7. アーム連結棒の取付け



- 1 左右のアームを少し横に上げてアーム連結棒を扉取付金具に差込み、1-3で取付けてください。

注意

- アーム連結棒を取付けるネジはしっかり締めつけてください。しっかり締めつけないと使用中ゆるんで、扉のねじれや、異音の原因になります。

8. 扉の取付け

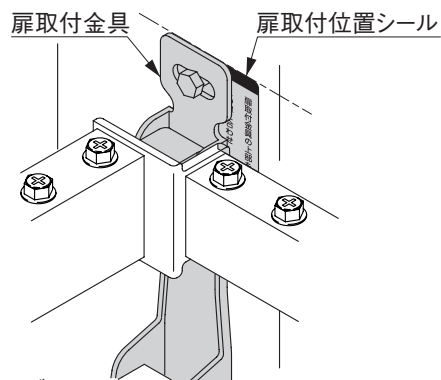
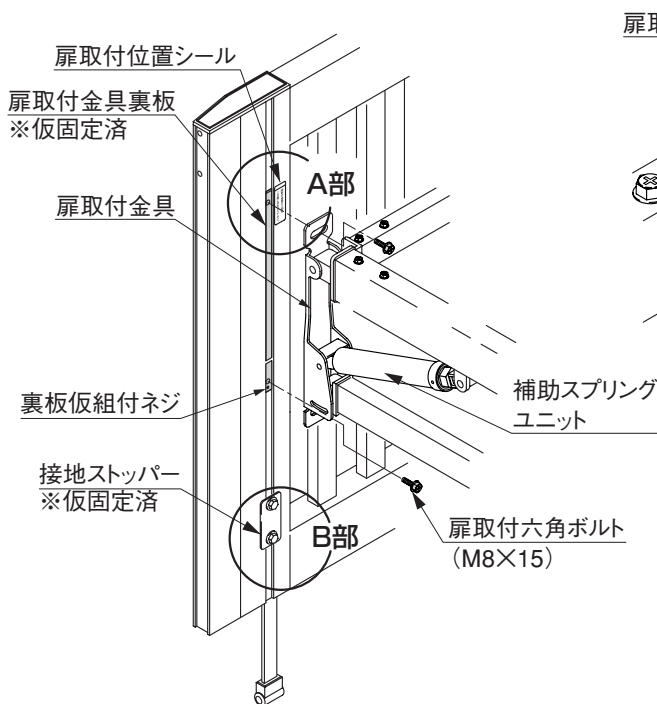


図8-1 A部詳細

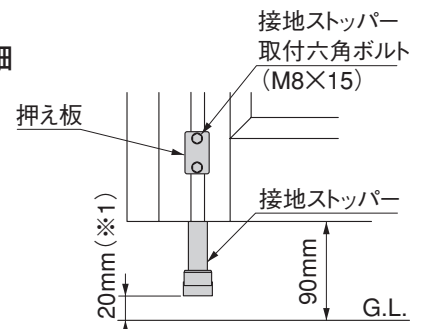


図8-2 B部詳細

- 1 あらかじめ仮固定している扉取付金具裏板の扉取付ボルトをはずしてください。
- 2 扉取付金具の上端を扉取付位置シールの上端の線に合わせ、扉取付ボルトで取付けてください。

注意

- 扉とアームの取付け位置がずれているとバランスがくずれ、扉の開閉に支障をきたし途中で停止したり、耐久性能に影響します。アームの取付け位置、取付け寸法を必ず確認してください。(図8-3 A図参照)

- 3 接地ストッパーはG.L.から20mm(※1)浮かせた状態で仮止めをしてください。(図8-2 B図参照)
電動で扉を開閉した後、最終位置決めをします。(21-2、接地ストッパーの位置決め参照)

アーム取付位置寸法	
標準	ハイルーフ
<p>Diagram showing the standard arm installation dimensions. The dimensions are: (370) total height, 170 height to the handle, 90 height to the ground stopper, and 20~30 height to the ground stopper. The ground stopper is labeled as 接地ストッパー. The diagram is labeled G.L. (Ground Level).</p> <p>() 内寸法は扉本体H12</p>	<p>Diagram showing the high-roof arm installation dimensions. The dimensions are: (370) total height, 170 height to the handle, 90 height to the ground stopper, and 20~30 height to the ground stopper. The ground stopper is labeled as 接地ストッパー. The diagram is labeled G.L. (Ground Level).</p> <p>() 内寸法は扉本体H12</p>

図8-3 A図

ポイント

- 扉取付け後、扉が垂直になるよう下アーム部で調整してください。(12.扉の垂直調整参照)

9. ワイドオーバードアRの連結棒固定バンドの取付け ※扉の開閉時に連結棒のゆれを防ぐために固定バンドを必ず取付けてください。

9-1 1型H12・2型H10,H12・3型H12・4型H10,H12・7型H10,H12・11型H10,H12 ライフモダンT型H10,H12・ライフモダンY型H12の場合

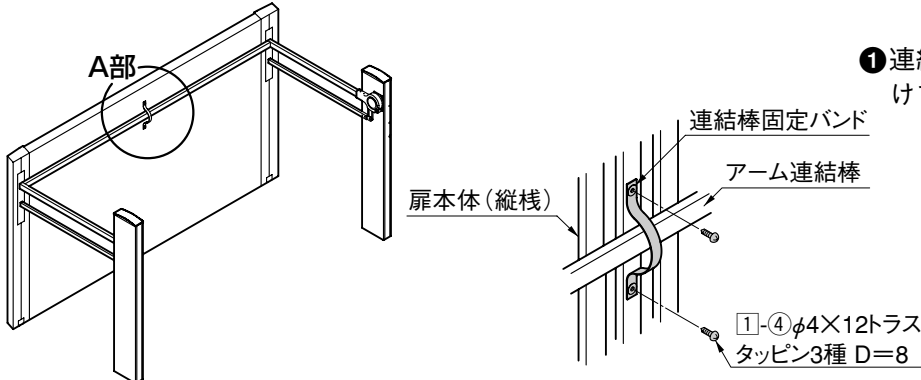


図9-1 A部詳細図

- 1 連結棒固定バンドを1-4で縦棧に組付けてください。

9-2 1型H10・3型H10・ライフモダンY型H10の場合

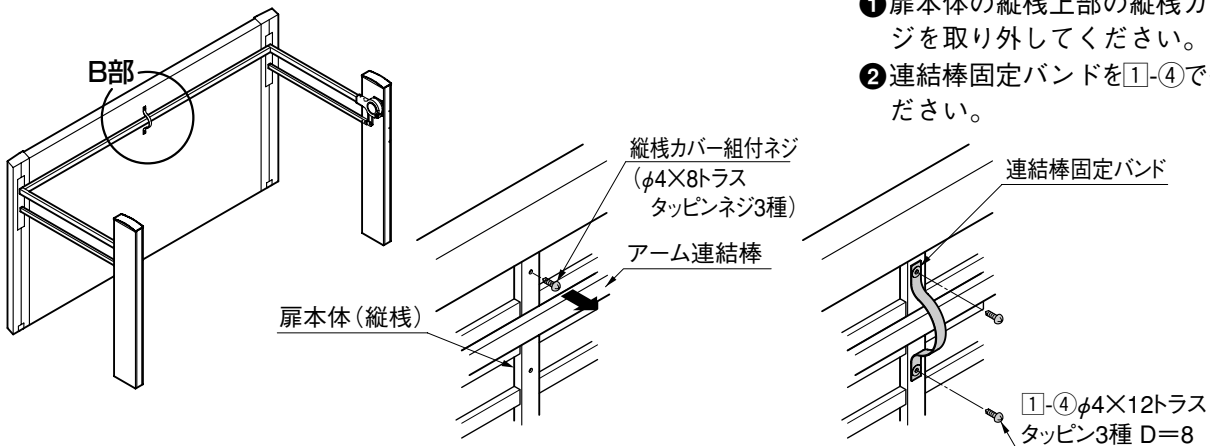
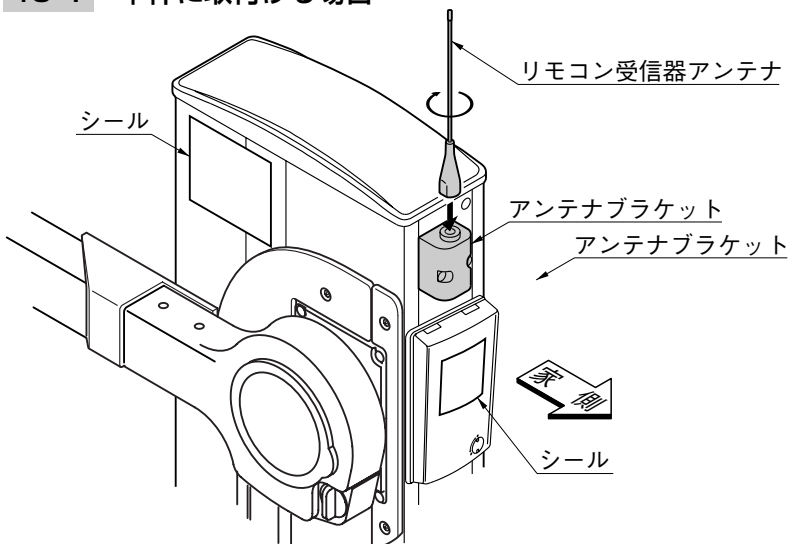


図9-2 B部詳細図

- 1 扉本体の縦棧上部の縦棧カバー組付ネジを取り外してください。
- 2 連結棒固定バンドを1-4で組付けてください。

10. リモコン受信器アンテナの取付け

10-1 本体に取付ける場合



- 1 リモコン受信器アンテナを、電動支柱上部にあるアンテナブラケットのコネクター部に取付けてください。

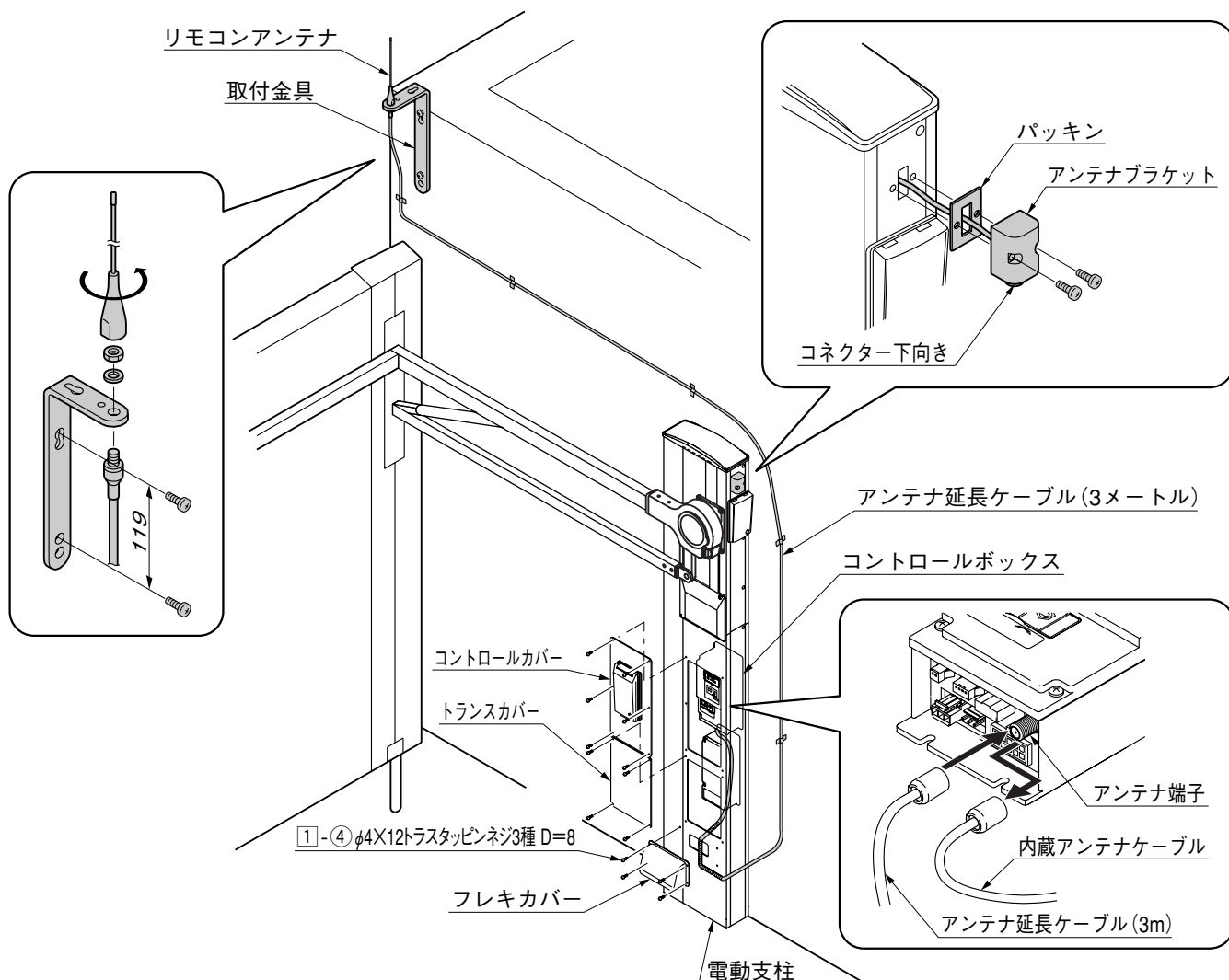
ポイント

- 受信感度に影響が出ますので、スパナ等の工具を使用し、しっかり根元まで固定してください。

10. つづき

10-2 アンテナ延長ケーブルセットを使用する場合 **オプション**

(1) 本体とアンテナ延長ケーブルの取付け



補足

- リモコン受信器アンテナが壁などに隠れ、リモコン到達距離が短くなる場合があります。そういうときは、オプションのアンテナ延長ケーブルセットでアンテナを見通しの良い場所に別設してください。

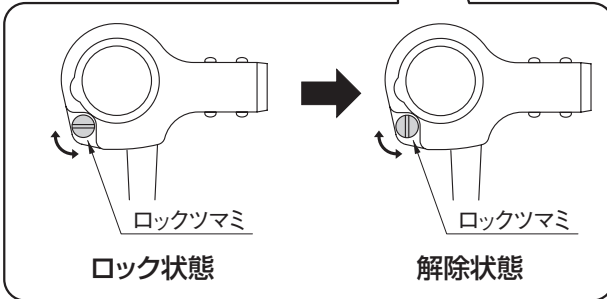
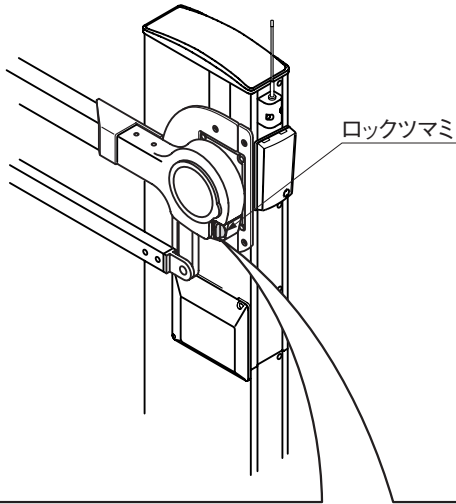
- ① アンテナブラケットをはずし、上下逆に取付けてください。

ポイント

- パッキンは必ず取付けてください。
- コネクターを下向きに取付けないと故障の原因になります。

- ② 電動支柱のコントロールカバーの①-④6本とトランスカバーの①-④4本をはずし、カバーの下側を手前に引っ張るようにはずしてください。
- ③ アンテナ延長ケーブルをフレキカバー、電動支柱内に通してください。
- ④ コントロールボックスのアンテナ端子から内蔵アンテナケーブルを取りはずし、アンテナ延長ケーブルを接続してください。
- ⑤ 取付金具を固定し、ケーブルにアンテナを取付けてください。
- ⑥ 接続が終了したら、コントロールカバー、トランスカバー、フレキカバーを①-④で取付けてください。

11. ロックツマミの解除



- 1 ロックツマミを押し込んで、ツマミが垂直な状態になるまでまわしてください。

⚠ 注意

- 電動または、手動で扉を開ける場合は、必ずロック解除をしてください。ロック状態のまま扉をあけると、駆動部が破損するおそれがあります。

⚠ 警告

- 安全のため、ロックツマミの穴にロック用ブッシュを取付けます。後行程 19-4 を必ず実施してください。

12. 扉の垂直調整

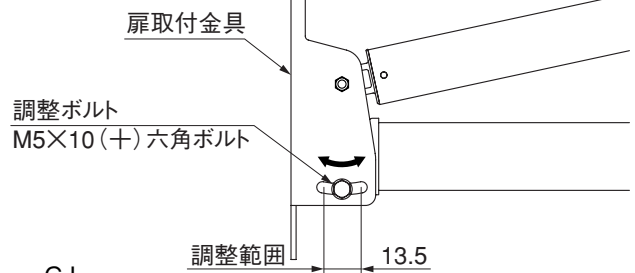
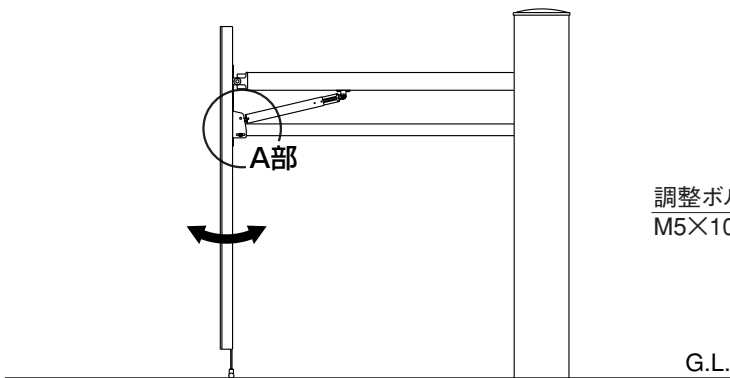


図13-1 A部詳細

- 1 扉取付後、扉が垂直になるように扉取付金具の調整ボルトをゆるめて調整してください。

⚠ 注意

- 調整後、固定ネジはゆるまないようにスパナを用いてしっかりしめてください。ネジがゆるむと、危険な作動をしてケガをするおそれがあります。

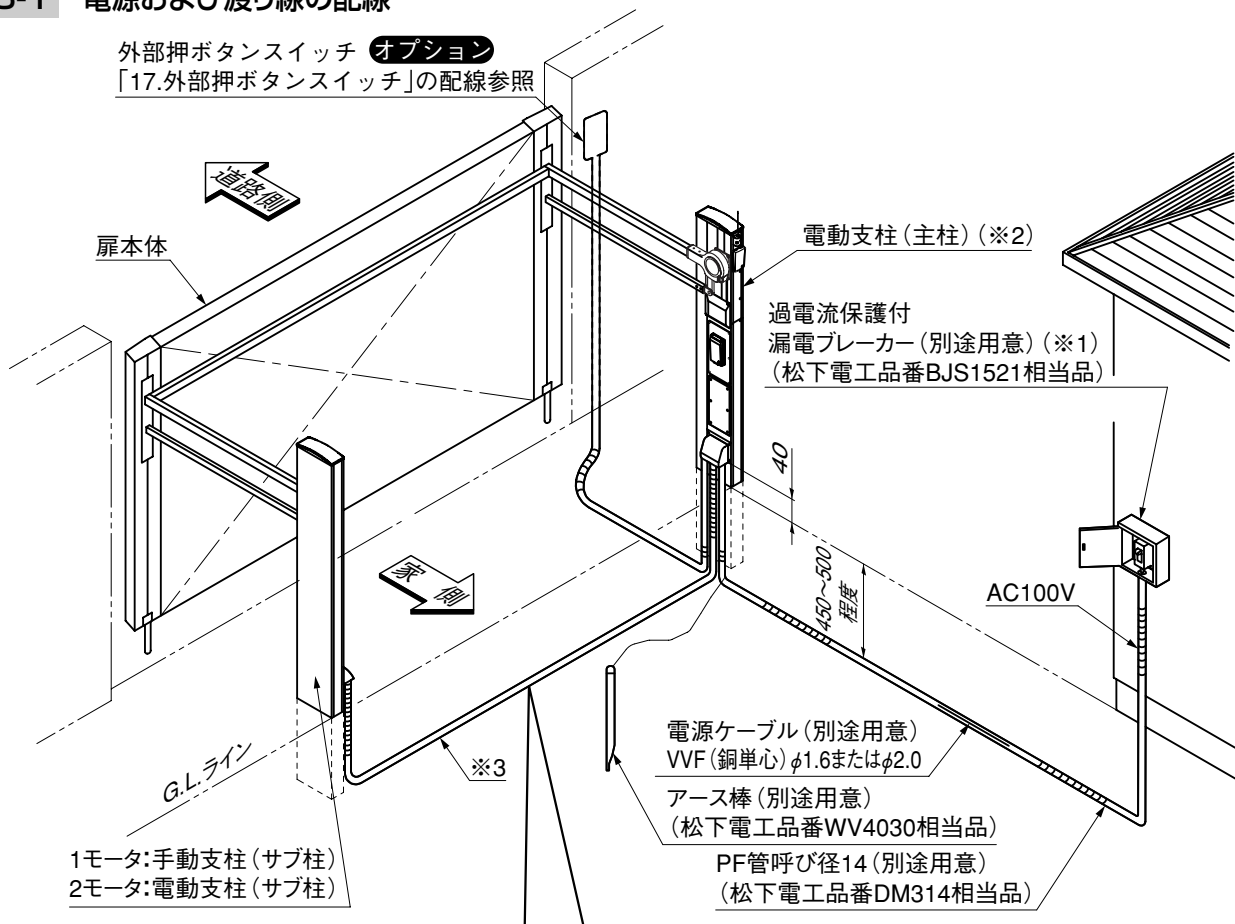
13. 配線 ※AC100V仕様の場合の手順です。

⚠ 注意

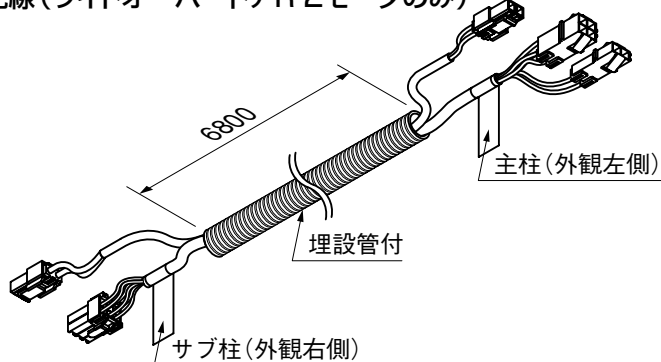
- AC100V線の施工に関しては、電気工事の有資格者に依頼してください。

13-1 電源および渡り線の配線

外部押ボタンスイッチ **オプション**
 「17.外部押ボタンスイッチ」の配線参照



渡り配線(ワイドオーバードアR 2モータのみ)



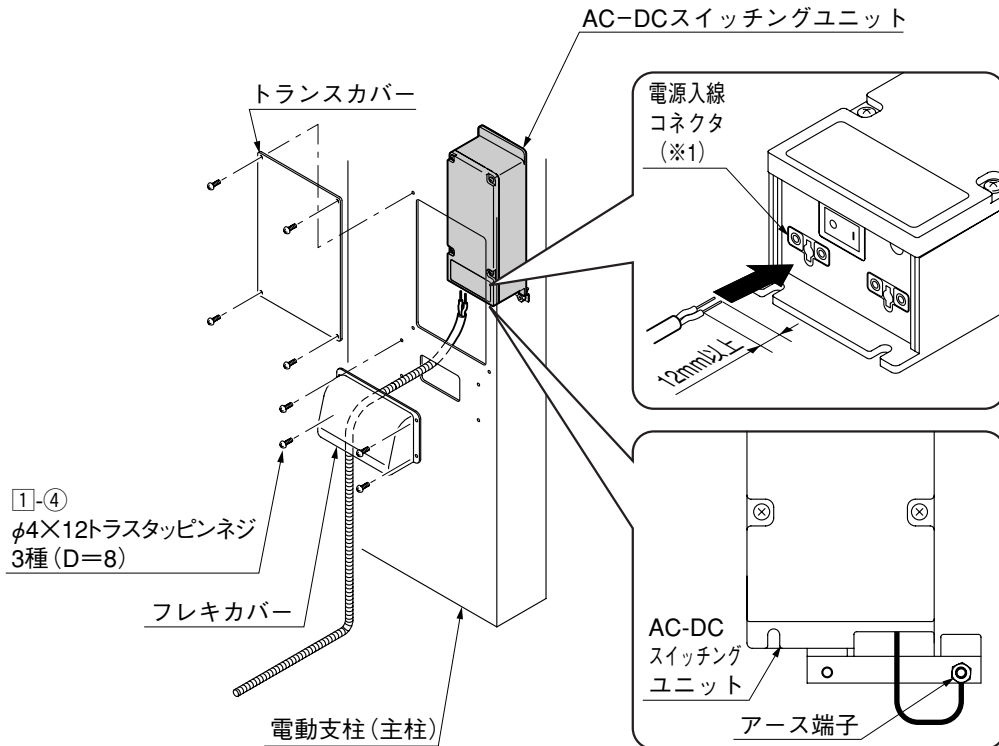
✎ 補足

- 渡り配線には左右があり、渡り配線に左右を区別するシールが貼ってありますので確認の上、埋設してください。(※3)

🔑 ポイント

- 施工には、別途過電流保護付漏電ブレーカーおよび埋設用PF管(呼び径14)、電線ケーブル、アース棒が必要になりますのでご用意してください。
- 電源用電線ケーブルは必ず過電流保護付漏電ブレーカーに接続してください。(※1)
- 電動支柱(主柱)には、D種接地工事を行ってください。(※2)
- W27、30型およびワイドオーバードアR 1モータには渡り配線はありません(※3)

13-2 AC100V電源線の接続



- ❶ 電動支柱(主柱)のトランスカバーのネジ4本をはずし、トランスカバーの下側を手前に引っ張るようにはずしてください。
- ❷ AC100V線をフレキカバー、電線支柱内に通してください。
- ❸ AC100V線を、AC-DCスイッチングユニットの電源入線コネクタの奥まで差込んでください。(銅単心部は12mm以上必要です)

⚠ 注意

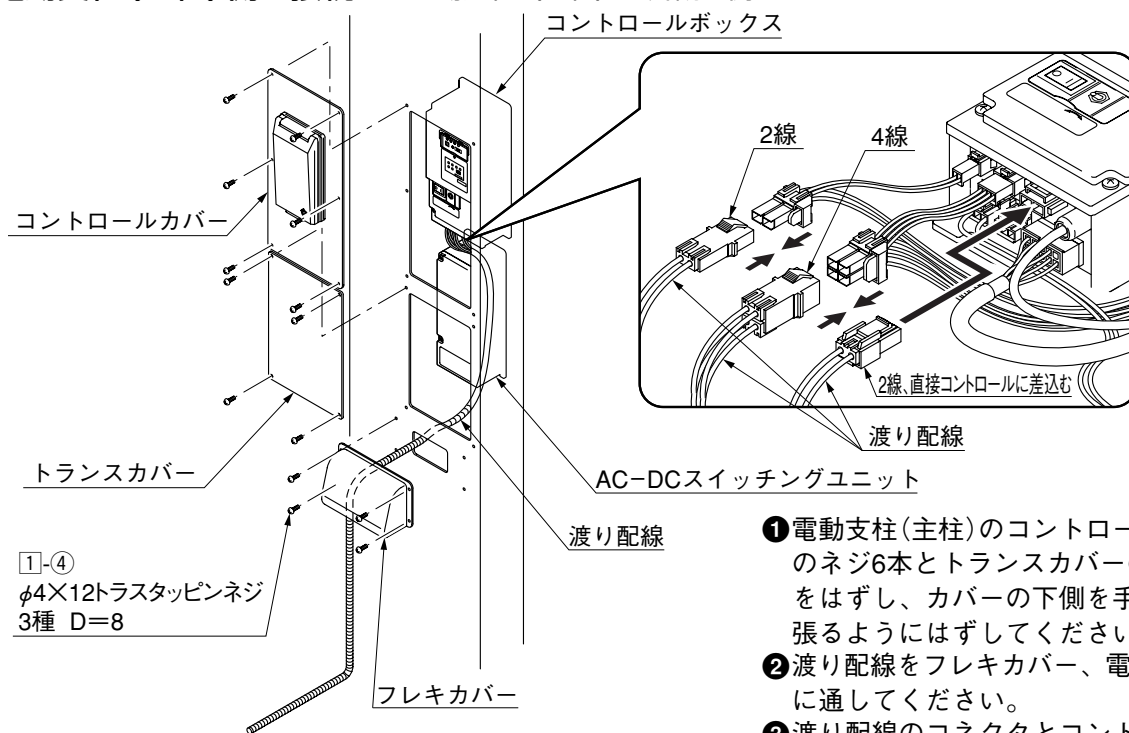
- AC100V線を、必ずAC-DCスイッチングユニットの左側の電源入線コネクタに差込んでください。(※1) 右側のコネクタはソーラーと併用する場合に使用します。右側に差込むと、動作しなくなる場合があります。

- ❹ 接続が終了したら、トランスカバー、フレキカバーを①-④で取付けてください。

13. つづき

13-3 渡り配線の接続 ※ワイドオーバードアR 2モータの場合のみの手順です。

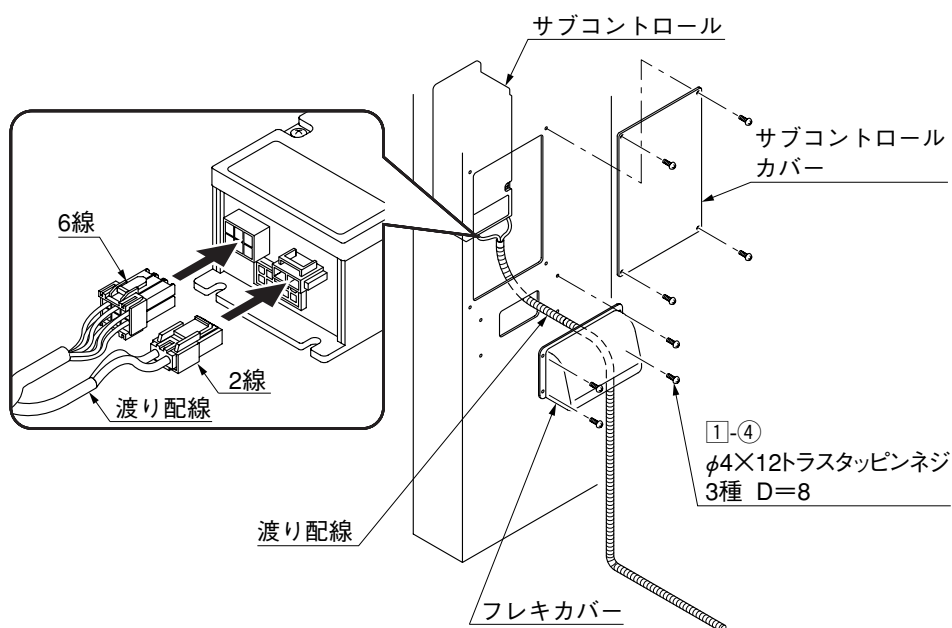
(1) 電動支柱(主柱)側の接続 ※電動支柱(主柱)は外観左側になります。



①-④
φ4×12トラスタッピンネジ
3種 D=8

- ① 電動支柱(主柱)のコントロールカバーのネジ6本とトランスカバーのネジ4本をはずし、カバーの下側を手前に引っ張るようにはずしてください。
- ② 渡り配線をフレキカバー、電線支柱内に通してください。
- ③ 渡り配線のコネクタとコントロールボックスから出ているコネクタを接続してください。(3ヶ所)

(2) 電動支柱(サブ柱)側の接続 ※電動支柱(サブ柱)は外観右側になります。



①-④
φ4×12トラスタッピンネジ
3種 D=8

- ① 電動支柱(サブ柱)のコントロールカバーのネジ4本をはずし、コントロールカバーの下側を手前に引っ張るようにはずしてください。
- ② 渡り配線をフレキカバー、電動支柱内に通してください。
- ③ 渡り配線のコネクタを、サブコントロールのコネクタに差込んでください。
- ④ 接続が終了しましたら、電動支柱(主柱)、電動支柱(サブ柱)のコントロールカバーおよびその他のカバー、フレキカバーを取付けてください。

14. 配線

※ソーラー電源を使用する場合の手順です。
 ※大容量ソーラー電源を使用する場合の手順です。

ポイント

- 大容量ソーラーパネルには柱取付タイプはありません。
- 別途、ソーラー電源セット、または大容量ソーラー電源セット、ソーラーパネル取付部品または大容量ソーラーパネル取付部品、ソーラー用電源ケーブルが必要になります。ただし、柱取付タイプの場合ソーラー電源ケーブルは必要ありません。
- ワイドオーバードアR2モータの場合、大容量ソーラー電源を使用してください。

14-1 電源の配線

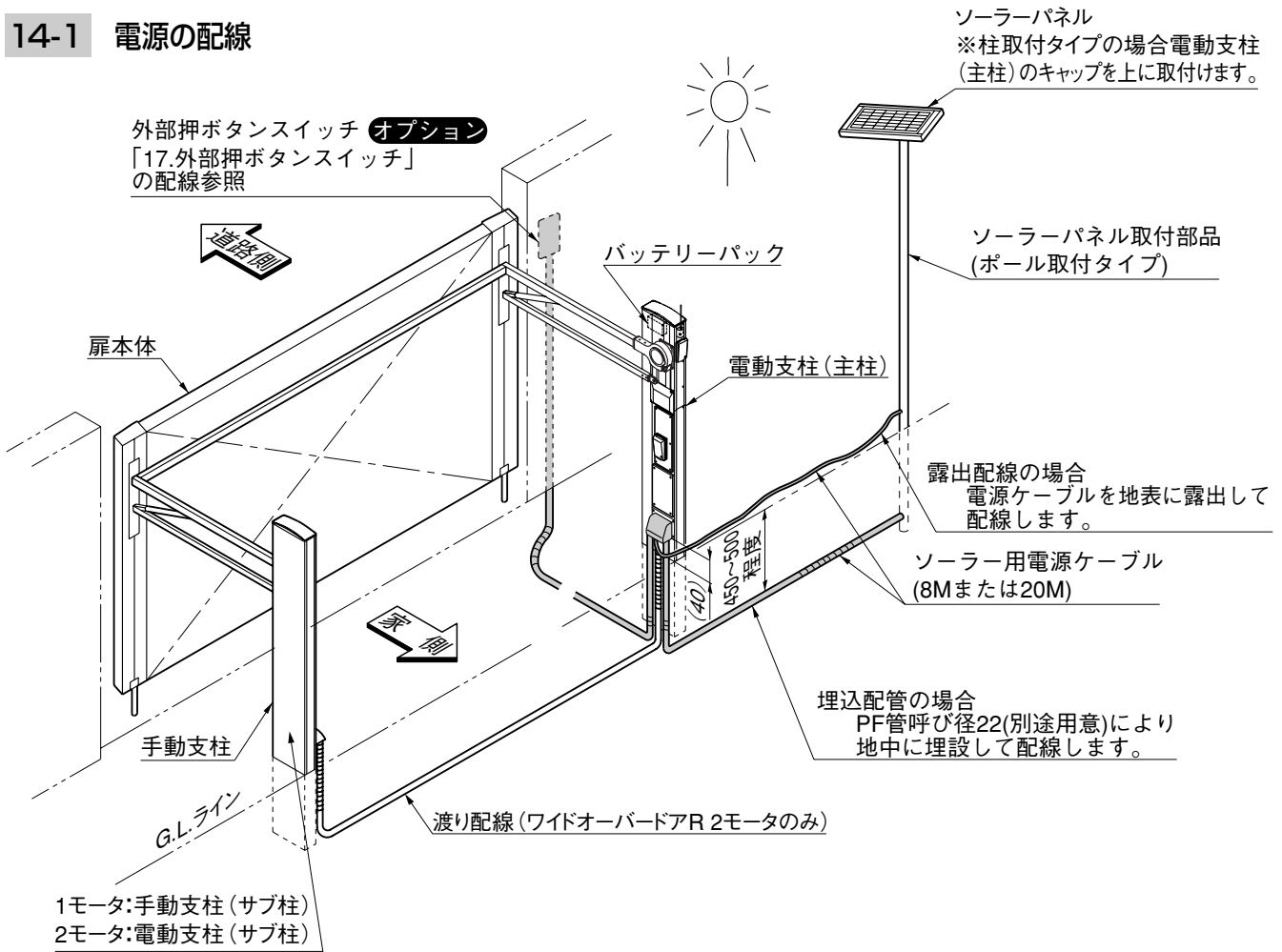


図14-1 ソーラー用電源ケーブル

ポイント

- ソーラー用電源ケーブルには向きがあり、方向を区別するシールを貼っていますので埋込配線する場合、確認の上、埋設してください。

ポイント

- ソーラーパネルおよびソーラーパネル取付部品の施工に関しては「ソーラー電源セット」または「大容量ソーラー電源セット」の取付説明書を参照してください。
- ソーラー電源を使用する場合、施工条件や使用条件に制限がありますのでご注意ください。詳しくは「ソーラー電源セット」または「大容量ソーラー電源セット」の取付・取扱説明書を参照してください。
- ソーラー用電源ケーブルを埋込む場合、別途埋設用PF管呼び径22(松下電工品番DM322相当品)が必要になりますので用意してください。

14. つづき

14-2 ソーラー電源線の接続

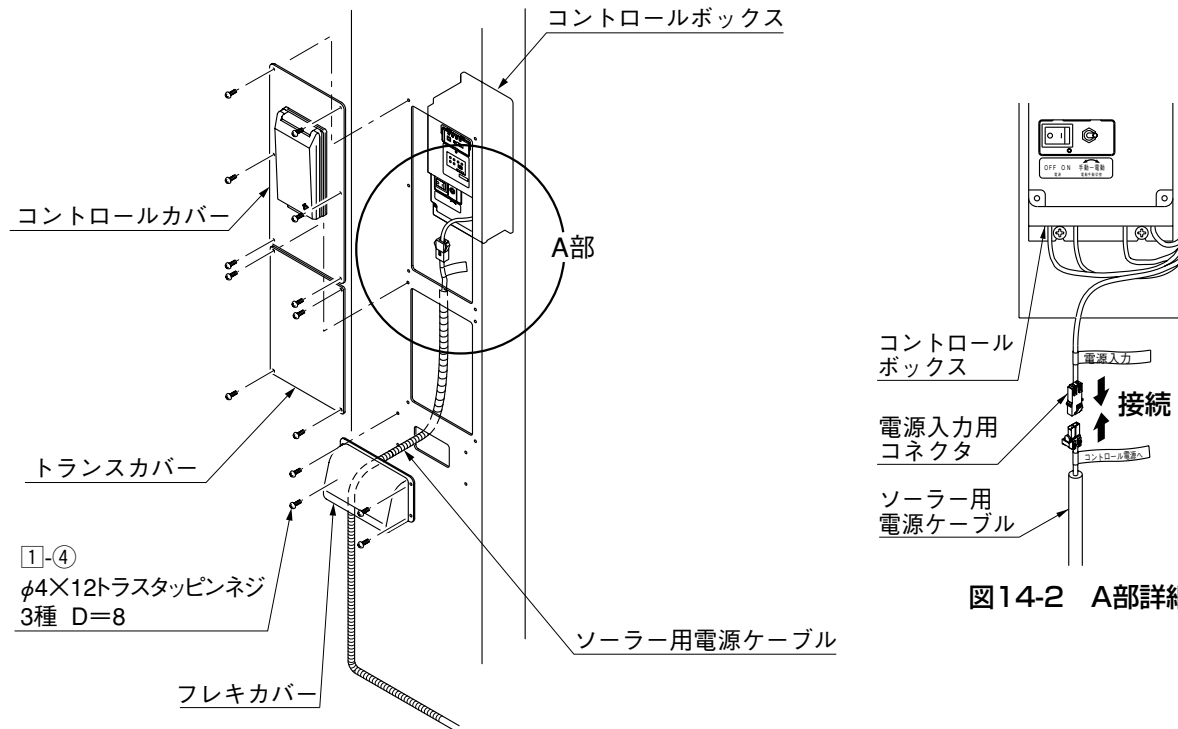


図14-2 A部詳細図

- ① コントロールカバーのネジ6本をはずし、コントロールカバーの下側を手前に引っ張るようにしてはずしてください。
- ② ソーラー用電源ケーブルをフレキカバー、電動支柱内に通してください。
- ③ ソーラー用電源ケーブルのコネクタを、柱内部の「電源入力」と表示シールがあるコネクタに接続してください。
- ④ 接続が終了したら、コントロールカバー、トランスカバー、フレキカバーを①-④取付けてください。

補足

- 外部押しボタンスイッチの配線は、コントロールカバー、フレキカバーを取付ける前に行なってください。

14-3 バッテリーの取付け

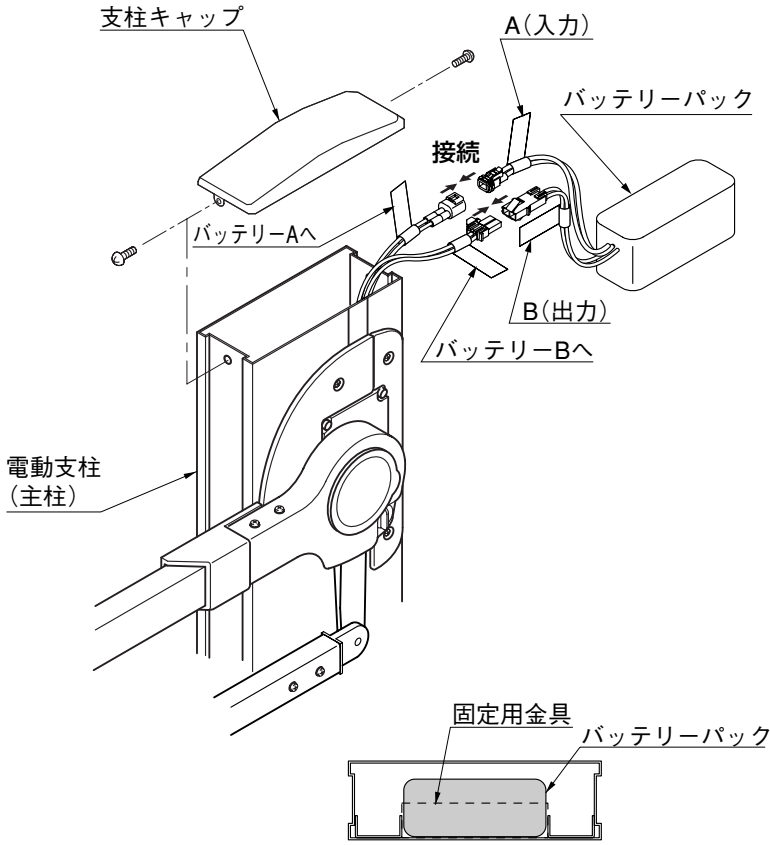


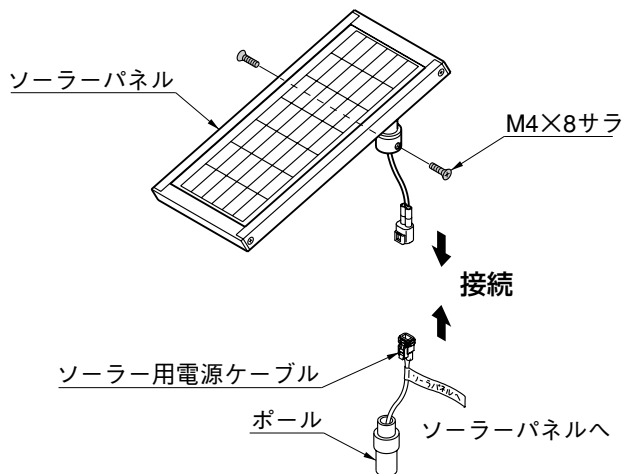
図14-3 上から見た図

- ① 電動支柱(支柱)のキャップをはずしてください。
- ② 柱内の「バッテリーへA」と表示したコネクタをバッテリーの「A(入力)」と表示したコネクタに接続してください。
- ③ 柱内の「バッテリーへB」と表示したコネクタをバッテリーの「B(出力)」と表示のあるコネクタに接続してください。

ポイント

- コネクタを接続する方向を確認してください。間違えると、コントロールボックスのヒューズが切れてしまいます。(バッテリーパック上部の注意シール参照)
- ④ バッテリーを柱内部の金具に設置してください。(図14-3参照)
 - ⑤ はずした支柱キャップを取付けてください。

14-4 ソーラーパネルの配線 ※ポール建てタイプまたはカーポート取付タイプの場合



補足

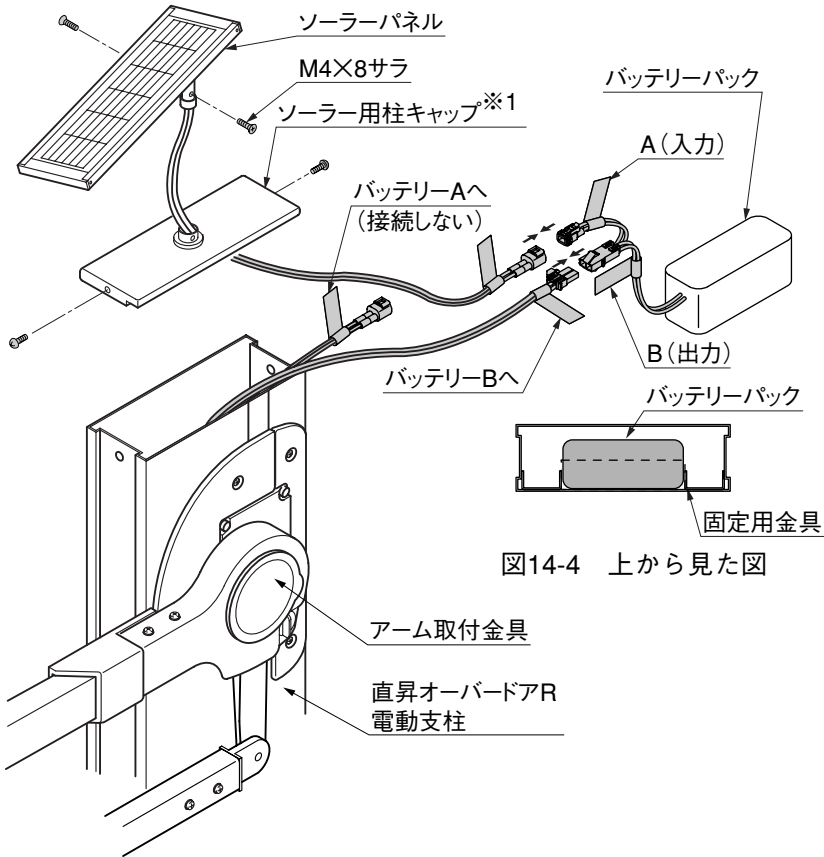
- ソーラーパネルの配線は「ソーラー電源セット」または「大容量ソーラー電源セット」の取付説明書を、ご参照ください。
- ① ソーラーパネルから出ているコネクタとソーラー用電源ケーブルのコネクタを接続してください。

補足

- 図は標準のソーラーパネル、ポール建てタイプの場合です。カーポート取付けタイプの場合も同様の接続になります。

14. つづき

14-5 ソーラーパネルの取付けおよび配線 ※柱取付タイプの場合



① 電動支柱側のキャップをはずしてください。

ポイント

- はずしたキャップは使用しません。
- 支柱内の「バッテリーAへ」と表示したコネクタには、何も接続しません。

② ソーラーパネルのコネクタにバッテリーの「A(入力)」と表示したコネクタを接続してください。

支柱内の「バッテリーBへ」と表示したコネクタにバッテリーの「B(出力)」と表示したコネクタを接続してください。

ポイント

- コネクタを接続する方向を確認してください。間違えると、コントロールボックスのヒューズが切れてしまいます。(バッテリーパック上部の注意シール参照)

③ バッテリーを柱内部の金具に設置してください。(図14-4参照)

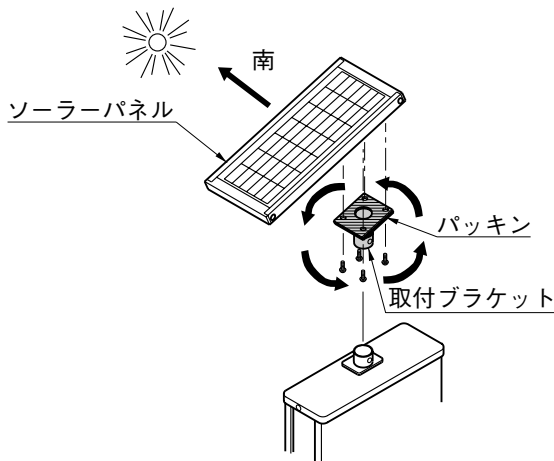
④ ソーラー用柱キャップをキャップを外したネジで取付けてください。

補足

- ソーラーパネルから取付ブラケットをはずし90°ずつ取付ブラケットを回すことにより4方向に向きを変えることができます。

ポイント

- ソーラーパネルは必ず南(南東～南西)に向くようにしてください。
- ソーラーパネルの角度を変えることはできません。
- ソーラー用キャップには向きがあります。切欠きがアーム取付金具側に向くように取付けてください。(※1)



14-6 渡り配線の接続 ※ワイドオーバードア 2モータの場合に必要です。

補足

- 配線方法は、13-1、13-3を参照してください。ただしソーラー電源を使用する場合、支柱内にAC-DCスイッチングユニットは取付きません。

15. 配線 ※トランス電源ユニットを使用する場合の手順です。

ポイント

- 別途、トランス電源ユニット(35Wタイプまたは60Wタイプ)、トランス用電源ケーブルが必要になります。

15-1 電源の配線

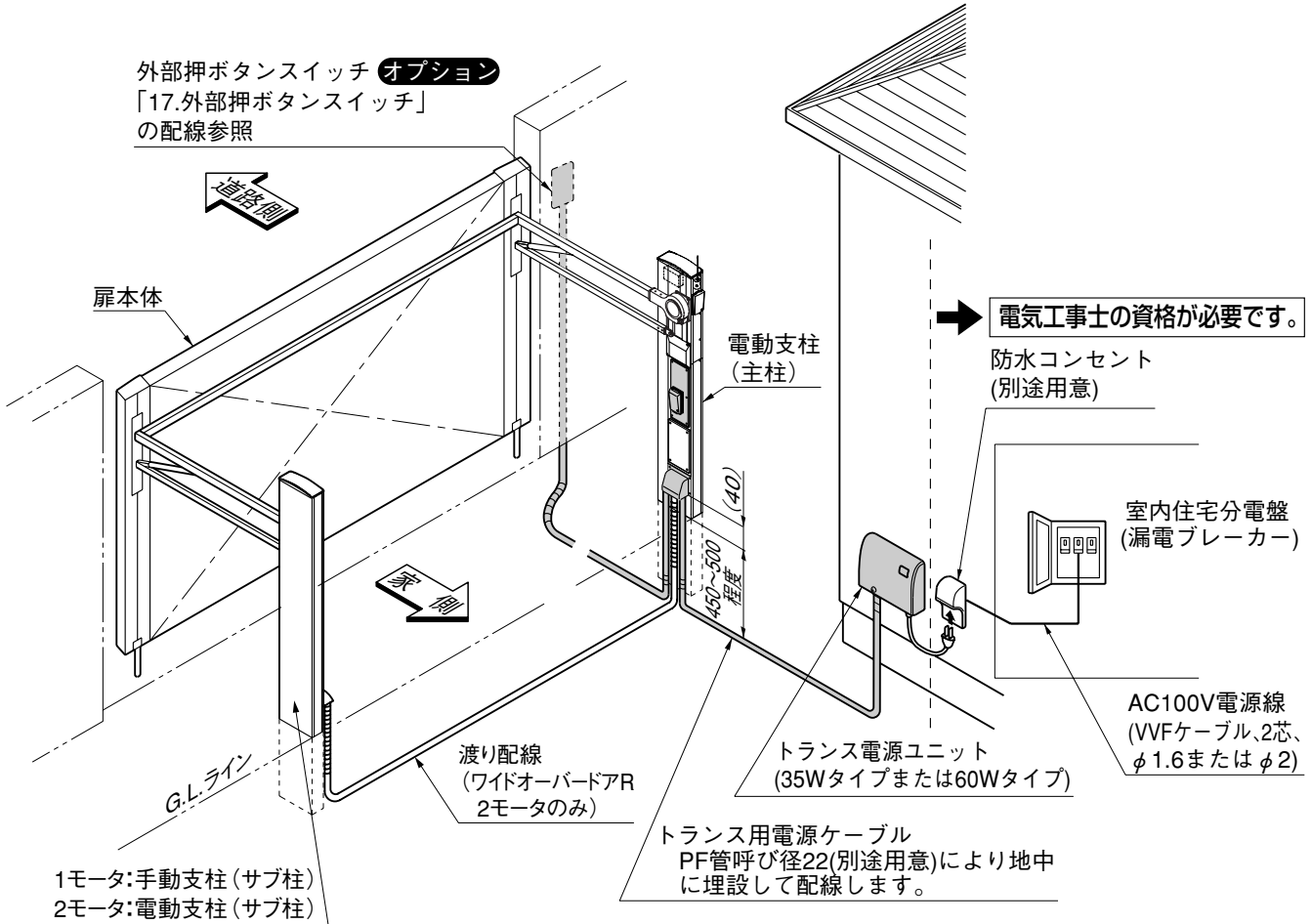


図15-1 トランス用電源ケーブル

ポイント

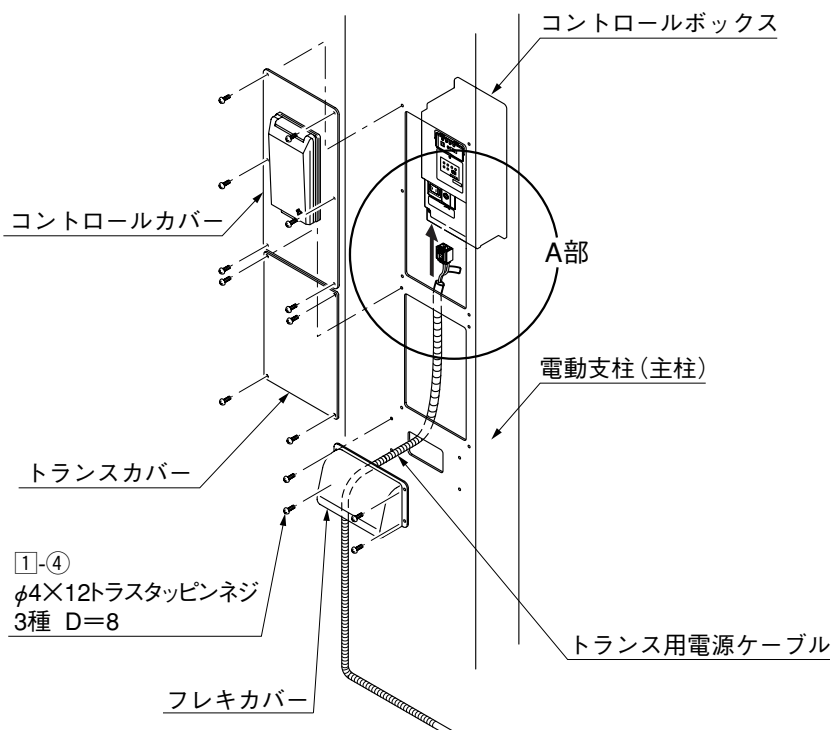
- トランス用電源ケーブルには向きがあり、方向を区別するシールを貼っていますので埋込配線の場合は、確認の上、埋設してください。

ポイント

- トランス電源ユニットの施工の詳細は、別途トランス電源ユニットの取扱説明書を参照してください。
- 住宅内の分電盤に接続した屋側の防水コンセント(別途用意 松下電工品番WK4102K相当品)を使用してください。
- トランス用電源ケーブルを埋込む場合、別途埋設用PF管呼び径22(松下電工品番DM322相当品)が必要になりますのでご用意ください。
- トラントランス電源ユニットには、接続容量に制限がありますので注意してください。(15-3参照。)

15. つづき

15-2 トランス電源線の接続



① コントロールカバーのネジ6本をはずし、コントロールカバーの下側を手前に引っ張るようにしてはずしてください。

② トランス用電源ケーブルをフレキカバー、電動支柱内に通してください。

③ トランス用電源ケーブルのコネクターを、コントロールボックスの左下の右側のコネクターに接続してください。（図15-2 A部詳細図参照）

④ 接続が終了したら、コントロールカバー、トランスカバー、フレキカバーを①-④で取付けてください。

補足

- 外部押しボタンスイッチの配線は、コントロールカバー、フレキカバーを取付ける前に行なってください。

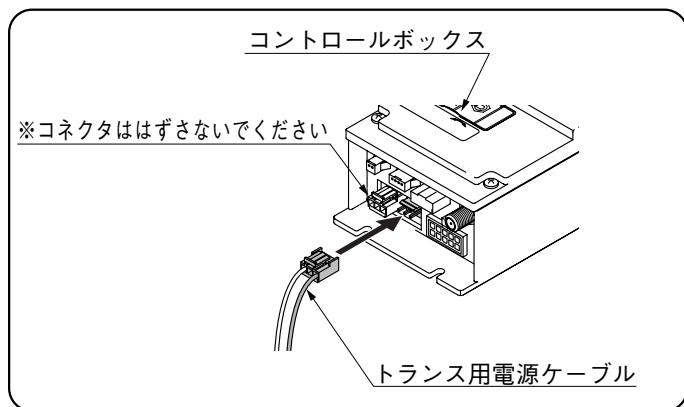


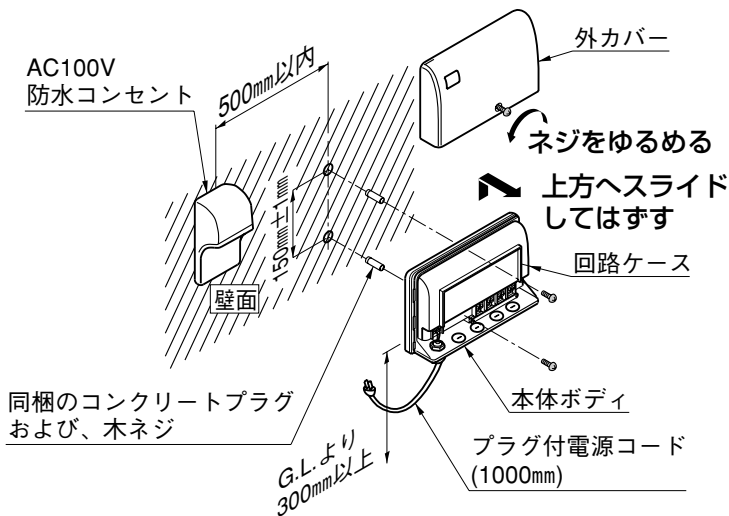
図15-2 A部詳細図

15-3 トランス電源ユニットの配線

ポイント

- 詳細は、別途トランス電源ユニットの取扱説明書を参照してください。

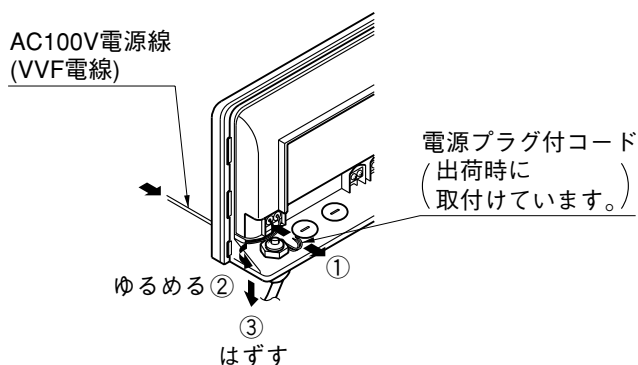
(1) トランス電源ユニットの取付け ※防水コンセントからAC100V電源を接続する場合の手順です。



ポイント

- 住宅側の壁面に設置したコンセントの近く(500mm以内)に電源ユニットを取付けてください。
- 壁面の材質や厚みに合わせて、同梱のネジで取付けてください。ネジはコンクリート材には、コンクリート用プラグを、木材等には、木ネジを使用してください。

(2) トランス電源ユニットの取付け ※住宅側からAC100V電源を接続する場合の手順です。



- ① プラグ付電源コードを取りはずしてください。
- ② 電源ユニット内に引き込んだAC100V電源線を電源線入力用速結端子台に接続してください。

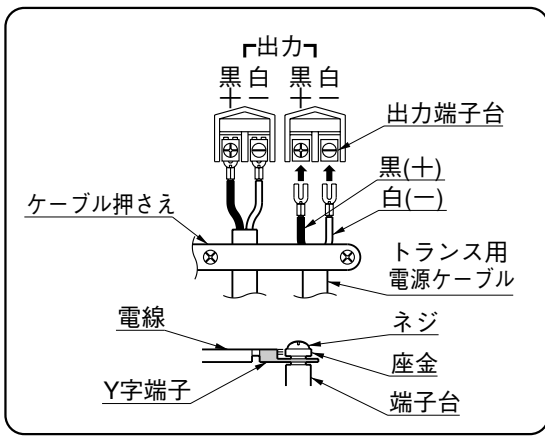
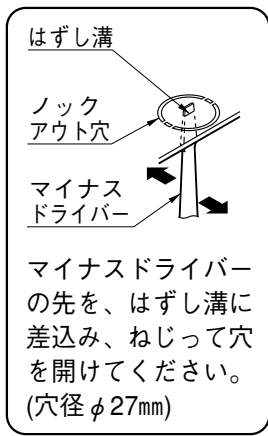
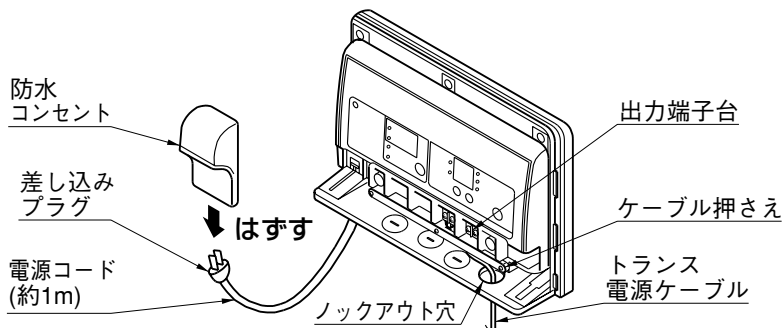
壁面に露出型ジョイントボックスがついている場合

- ジョイントボックスを取りはずしてから電源ユニットを取付けてください。



15. つづき

(3)トランス電源ユニットへの接続



⚠ 注意

- 配線を接続するときには、必ず防水コンセントから電源コードの差し込みプラグをはずしてください。感電のおそれがあります。

- ① トランス電源ユニット本体のノックアウト穴をはずしてください。
- ② トランス用電源ケーブルをノックアウト穴に通し、出力端子台に極性を合わせて接続してください。

⚠ 注意

- 極性(+, -)を絶対に間違えないでください。逆接続するとコントロールボックス内のヒューズが切れ、電動で作動しなくなります。
- Y字端子は端子台の奥まで確実に差し込み、ネジを堅固に締付けてください。接続不良による発熱の原因になります。
- トランス用電源ケーブルを切詰めた場合、付属のY字端子を使用してください。接続不良による発熱の原因になります。

- ② 電線ケーブルを本体ケースにあるケーブル押さえで固定してください。

15-3 つづき

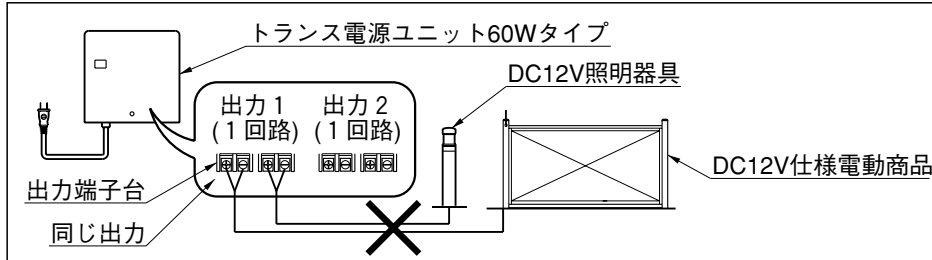
(4)トランス電源ユニットの接続容量について

ポイント

- 60Wタイプは、電動商品と照明器具を接続することはできますが(2回路あるため)同じ出力に同時に電動商品と照明器具を接続して使用することはできません。出力の設定が異なりますので出力を分けて(出力1と出力2)接続してください。

●35Wタイプ	電動商品(DC12V)	照明器具(DC12V)
	最大2台まで (1台20W以下)	×使用不可

	出力	電動商品(DC12V)	照明器具(DC12V)
●60Wタイプ 電動商品(DC12V)のみに使用する場合	出力1	最大2台まで (1台20W以下)	×使用不可
	出力2	最大2台まで (1台20W以下)	×使用不可
●60Wタイプ 電動商品(DC12V)と照明器具を使用する場合	出力1 (または出力2)	最大2台まで (1台20W以下)	×使用不可
	出力2 (または出力1)	×使用不可	最大30Wまで 詳細はトランス電源ユニット取扱説明書をご参照ください



注意

- 接続容量を超えると、動作しません。また同じ出力に電動商品と照明を接続すると動作しなかったり、照明が点灯しっぱなしになります。

15-4 渡り配線の接続 ※ワイドオーバードア 2モータの場合に必要です。

補足

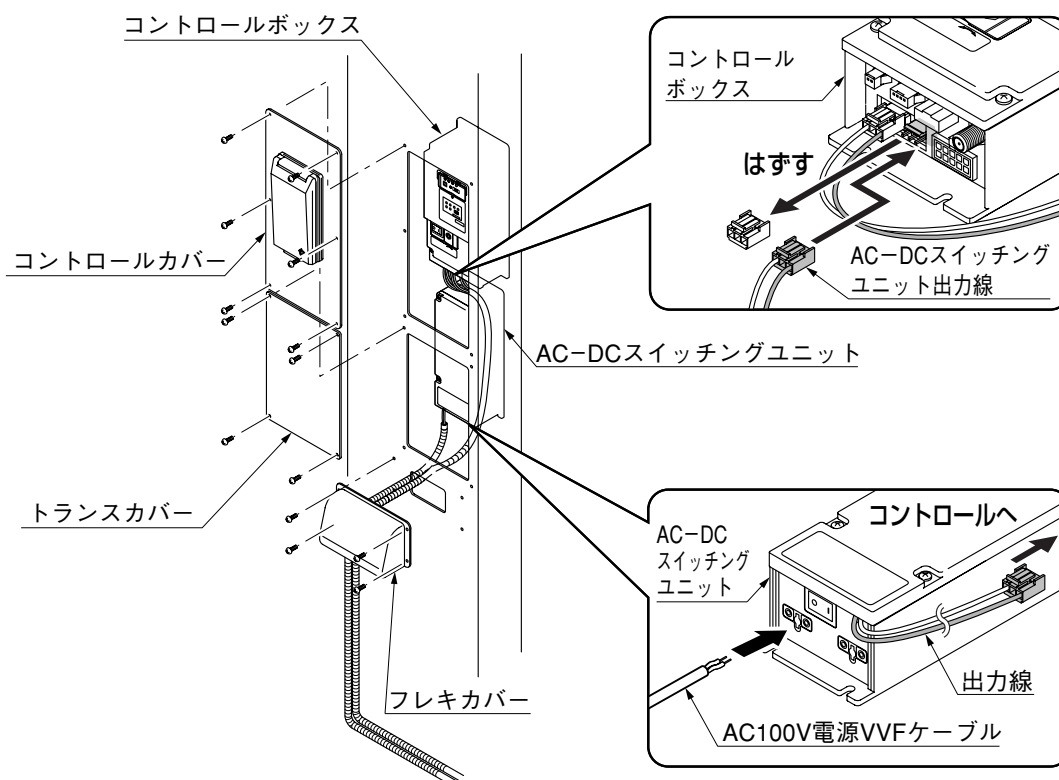
- 配線方法は13-1、13-3を参照してください。ただしトランス電源ユニットを使用する場合、支柱内にAC-DCスイッチングユニットは取付きません。

16. 配線 ※ソーラー電源とAC100V電源を併用する場合

補足

- ソーラー電源仕様の支柱にオプションの「AC-DCスイッチングユニット」を取付けることで、ソーラーとAC100Vの併用が可能です。通常はソーラー電源を使用し、バッテリーの充電量が少なくなると自動的にAC100V電源に切り替わります。バッテリーの充電が完了すると再びソーラー電源に切り替わります。

16-1 コントロールボックスおよびAC-DCスイッチングユニットの配線



- ① コントロールカバーのネジ6本、トランスカバーのネジ4本をはずし、カバーの下側を手前に引っ張るようにはずしてください。
- ② AC-DCスイッチングユニットを取付けてください。
詳細は「AC-DCスイッチングユニット」の取付説明書をご参照ください。
- ③ AC-DCスイッチングユニットの出力線をコントロールボックスの左下の右側のコネクタをはずし接続してください。
- ④ AC100V線を、AC-DCスイッチングユニットの電源入線コネクタの奥まで差込んでください。

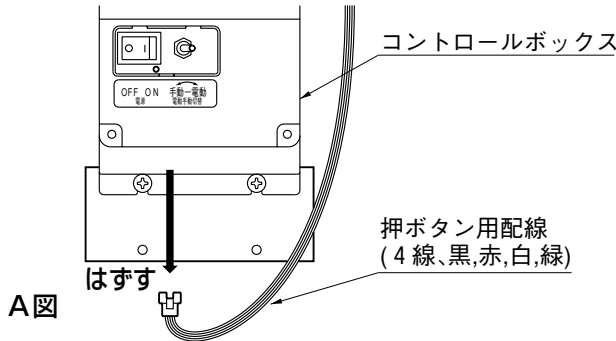
補足

- AC100V電源線の配線の詳細は13-1、13-2を参照してください。

17. 外部押ボタンスイッチの配線 **オプション**

※ソーラー仕様、トランス仕様、AC100V仕様共通

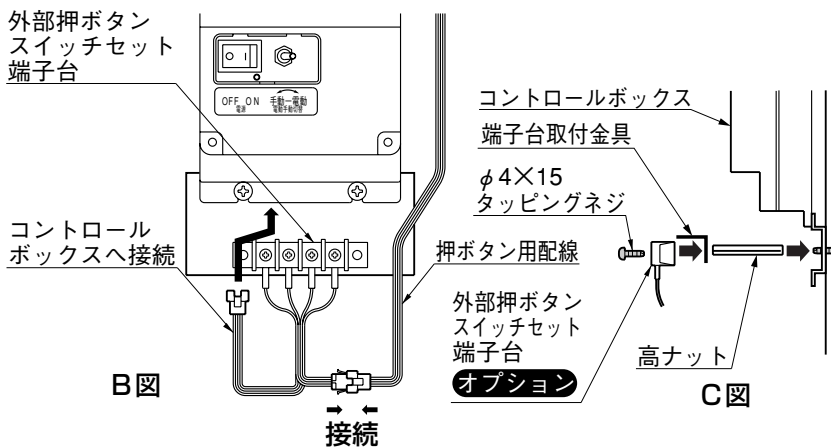
17-1 配線作業および端子台の取付け



- ① コントロールボックスに接続している押ボタンスイッチのコネクタをはずしてください。
- ② 外部押ボタンスイッチのコネクタをコントロールボックスとはずした押ボタン用配線のコネクタに接続してください。
- ③ キャプタイヤケーブル4芯を電動支柱のフレキカバーから通し、外部押ボタンスイッチセットの端子台に接続してください。

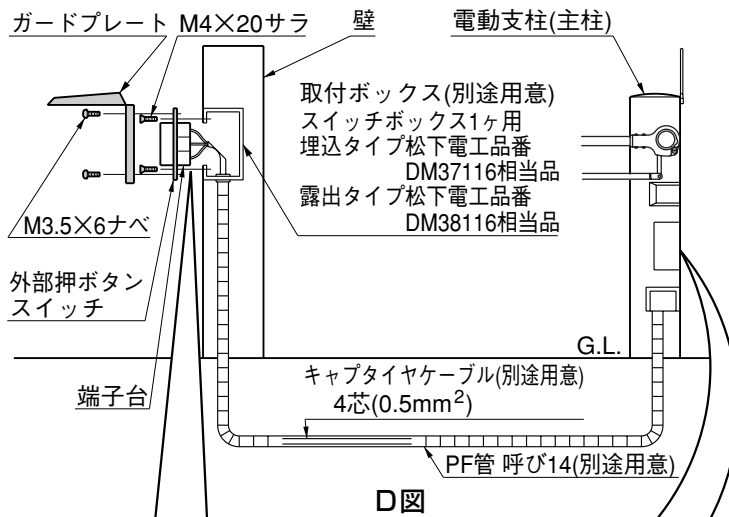
補足

- キャプタイヤケーブルは別途用意してください。
- AC-DCスイッチングユニットが取付いている場合、AC-DCスイッチングユニットを固定しているネジをはずして端子台と共締めしてください。



- ④ 外部押ボタンスイッチ側の端子台にキャプタイヤケーブル4芯を接続してください。
- ⑤ 外部押ボタンスイッチの端子台を端子台取付金具と高ナットを使用して取付けてください。

17-2 外部押ボタンスイッチの取付け



ポイント

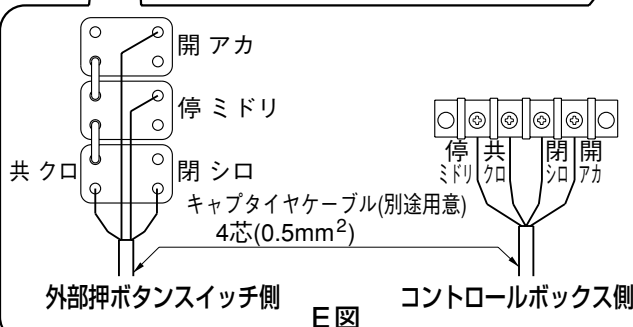
- 0.5mm²のキャプタイヤケーブルの長さは50m以内で設置してください。50mを超えると押ボタンでの操作に支障をきたします。

- ① 外部押ボタンスイッチをスイッチボックス(市販スイッチボックス1ヶ用別途用意)にM4×20サラで固定してください。

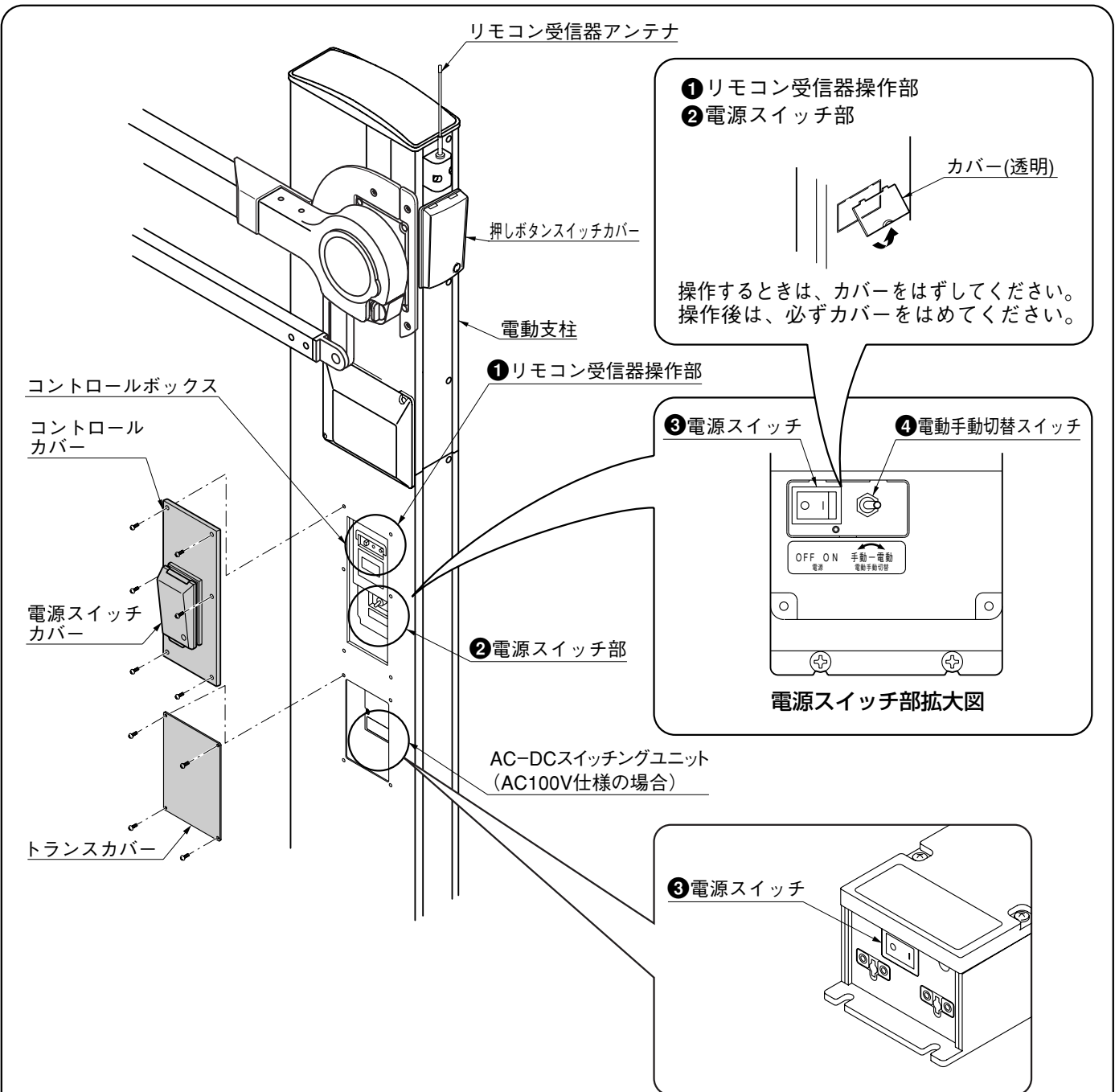
補足

- スイッチボックス1個を別途用意してください。

- ② ガードプレートを外部押ボタンスイッチにM3.5×6ナベで取付けてください。
- ③ ガードプレート周辺をシーリングしてください。



18. 電動支柱・コントロールボックスの名称および働き



① リモコン受信器操作部

- リモコン送信器を登録、抹消するときに使用します。(「19. リモコン送信器について」参照)
- リモコン受信器は、コントロールボックスに内蔵しています。

③ 電源スイッチ

- 電動ユニットの主電源を「ON・OFF」するスイッチです。「OFF」にするとすべてのコントロール機能が停止します。

④ 電動手動切替スイッチ

- 手動で扉本体を動かすときに使用するスイッチです。

⚠ 注意

- 通常、電源スイッチの「ON・OFF」に関係なく、モータによるロックがかかっています。手動で動かすときは、スイッチを手動側にしてください。電動のまま作動すると駆動部の破損の原因になります。

19. 使用方法

19-1 ソーラー電源仕様の場合 ※詳細は「ソーラー電源セットまたは大容量ソーラー電源セット」の取付・取扱説明書をご参照ください。

⚠ 注意

- ソーラー電源を使用する場合、電動で動作させる前にバッテリーの充電が必要になります。
- バッテリーは工場出荷段階では、充電が不十分ですので必ず充電した後、使用してください。

(1) 動作回数について

⚠ 注意

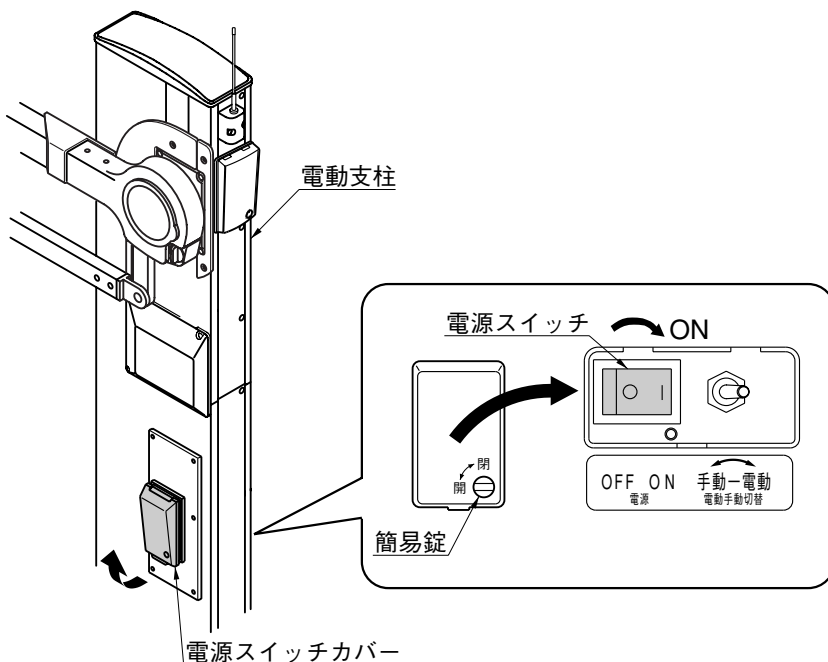
- ソーラーシステムはソーラーパネル(太陽電池)が発電する電気をバッテリーに充電し、その蓄えた電気で扉を動作しています。動作はすべてバッテリー容量の影響を受けますので、目安となる動作回数を設けています。
- 動作回数は1日10往復以下または1週間で70往復以内(動作時の昼夜・天候は問いません)が目安です。

✎ 補足

- 周囲の環境等で動作回数が少なくなることがあります。
- 動作回数の制限を超えても使用は可能ですが、1年を通して安定した動作を得るために制限以内で使用してください。

19-2 トランス電源ユニットを使用する場合 ※詳細は、トランス電源ユニットの取扱説明書を参照してください。

19-3 電動支柱 電源の入れ方



- 1 電源支柱の電源スイッチカバーを開け電源をONにしてください。

🔑 ポイント

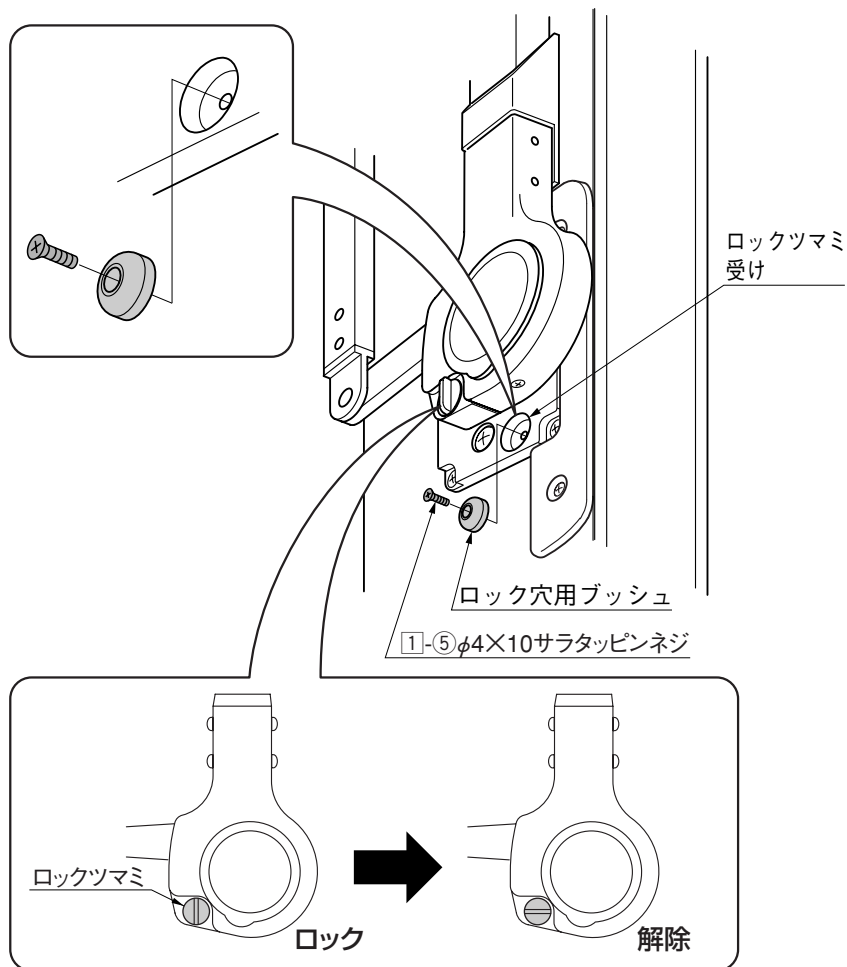
- 電源スイッチカバーには、簡易錠が付いています。コイン等で開位置(溝が水平)まで回しカバーを開けてください。

✎ 補足

- AC100V仕様の場合、AC-DCスイッチングユニットの電源がONになっていることを確認してください。

19. つづき

19-4 ロック穴用ブッシュの取付け ※必ず左右の柱に取付けてください。



- ① オーバードアRの門扉本体を全開位置まで上げて、柱のロックツمامミをロック状態にしてください。
- ② ロックツمامミ受けに、ロック穴用ブッシュを①-⑤で取付けてください。

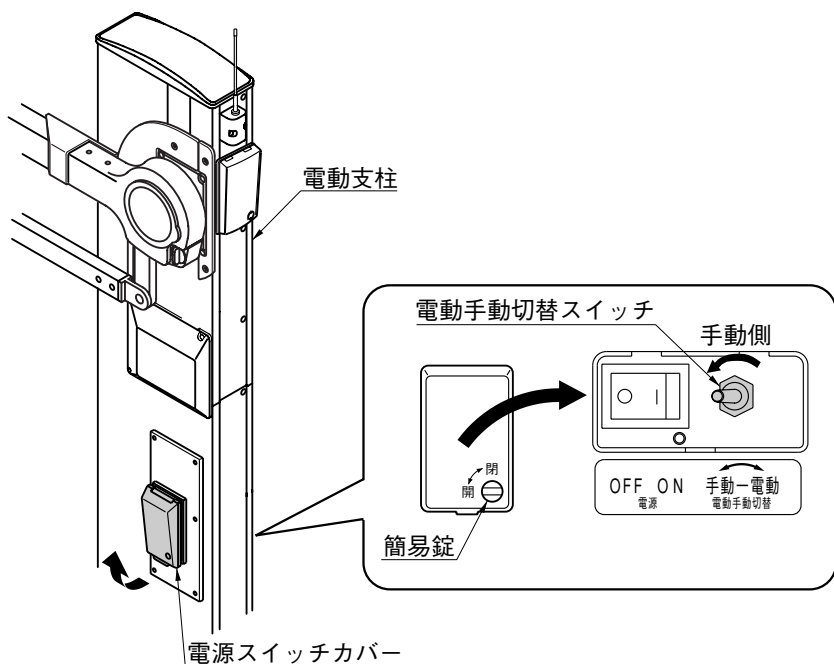
ポイント

- ネジを取付ける際、プラスドライバーは手回して締めこんでください。
- 取付作業の終了後は、ロックツمامミを解除状態にしてください。

警告

- 安全のため、必ず取付けてください。子供が手を入れケガをするおそれがあります。

19-5 電動で動かせないときの操作方法 ※非常時(停電・故障・バッテリー充電時)など電動で動かせないときは、手で動かすことができます。



- ① 電動支柱の電源スイッチカバーを開け、電動手動切替スイッチを手動側にしてください。

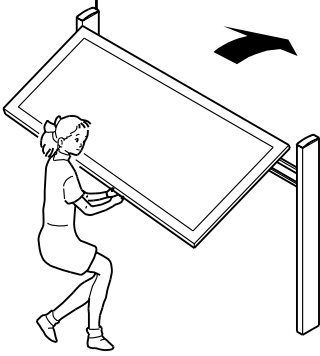
補足

- 手動開閉が可能になります。
- オーバードアR、ワイドオーバードアR 1モータの手動開閉には、約7kgの力が必要です。
- ワイドオーバードアR 2モータの手動開閉には、約15kgの力が必要です。

注意

- 電源のON, OFFに関係無く、電動手動切替スイッチが電動側のときは、モータによる25~30kgロックがかかっています。手動で開閉する場合、必ず電動手動切替スイッチを手動側にして使用してください。電動のまま作動すると駆動部の破損の原因になります。

19-5 つづき



②扉の中心部を手で持ち開閉してください。

⚠ 注意

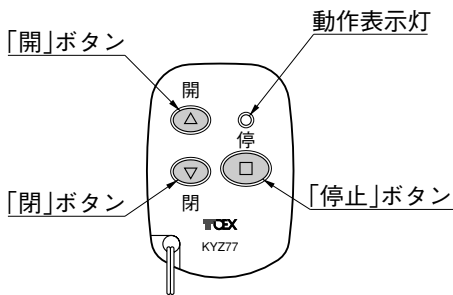
- 手動での開閉は非常時に限り行なってください。通常は電動操作で使用してください。
- 手動切替後、非常時が回復（電動で使用できる状態）したときは、コントロールボックスの電動手動切替スイッチを電動側にすることを忘れないでください。

19-6 安全装置について

🔑 ポイント

- 扉が動作中に人や車、障害物に衝突したときに、大事故を防ぐために安全装置を設定しています。開閉動作中に安全装置が作動した場合、閉側は、約1秒間後退し停止します。開側は、その場で停止します。安全装置が働く力は、7～8kgです。なお、ワイドオーバードアR 2モータの場合13～14kgです。

19-7 リモコン送信器での操作方法



MDC-3リモコン送信器

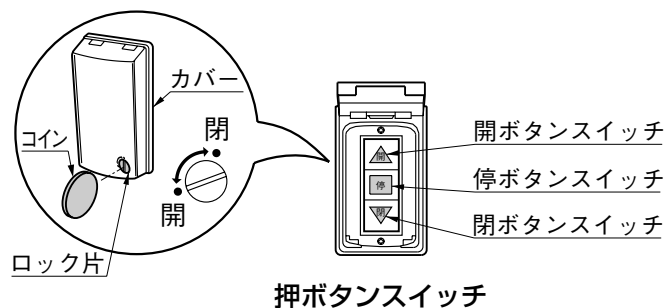
- ①「開」ボタンを1回押して、2秒以内にもう1回押してください。動作表示灯が点滅して、扉が開きます。
- ②「停止」ボタンを押してください。動作表示灯が点滅して、扉が一時停止します。
- ③「閉」ボタンを1回押して、2秒以内にもう1回押してください。動作表示灯が点滅し、扉が閉じます。

✎ 補足

- リモコン送信器の実用到達距離約10メートル以内で操作してください。
- 「開または閉」ボタンを2回押す間隔が2秒を超えると送信しませんので注意してください。
- 安全上「停止」ボタンに限り1回押すだけで送信するようになっています。
- 一時停止位置によっては作動バランスの関係上、多少動くことがあります。
- 開／閉動作中に逆方向の開または閉動作するときは、必ず一度「停止」ボタンを押してから次の押ボタンを押してください。

19. つづき

19-8 電動支柱押ボタンスイッチでの操作方法



- ① ロック片にコインなどを差込み、左にまわしカバーを開けてください。
- ② 開ボタンスイッチを押すと扉が開きます。
- ③ 停ボタンスイッチを押すと扉が一時停止します。

補足

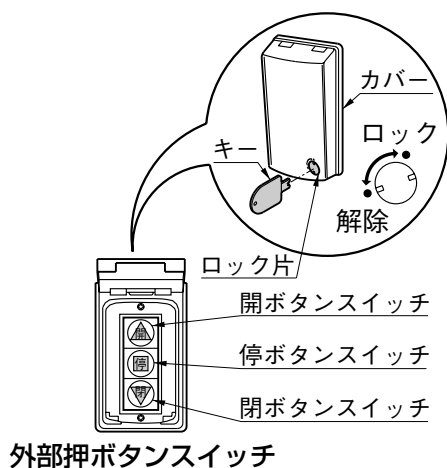
- 一時停止位置によっては作動バランスの関係上、多少動くことがあります。

- ④ 閉ボタンスイッチを押すと扉が閉じます。
- ⑤ カバーを閉め、ロック片にコインなどを差込み、右にまわし閉じてください。

注意

- 不用意な操作による損害を防ぐために、操作時以外はロック片を「閉」の状態にしてください。

19-9 外部押ボタンスイッチでの操作方法 **オプション**



- ① 付属のキーをロック片に差込み、左にまわしカバーを開けてください。
- ② 開ボタンスイッチを押すと扉が開きます。
- ③ 停ボタンスイッチを押すと扉が一時停止します。

補足

- 一時停止位置によっては作動バランスの関係上、多少動くことがあります。

- ④ 閉ボタンスイッチを押すと扉が閉じます。
- ⑤ カバーを閉め、付属のキーをロック片に差込み、右にまわしロックしてください。

注意

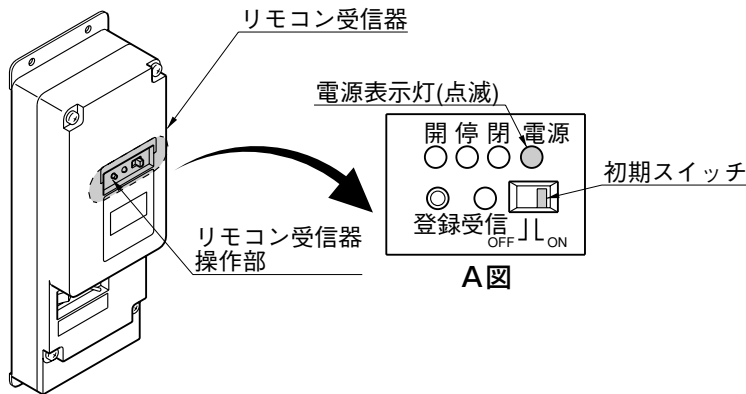
- 不用意な操作による損害を防ぐために、操作時以外はカバーをロックしてください。

20. リモコン送信器について

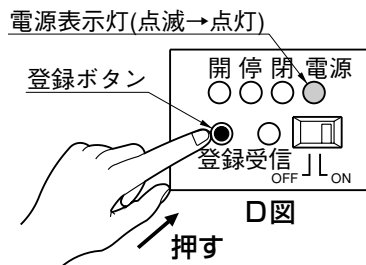
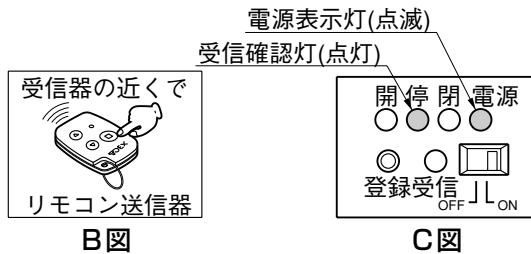
ポイント

- リモコン送信器で操作する場合は、リモコン受信器に登録をしてください。
- リモコン送信器はコイン型リチウム電池(C R 2032)を1個使用します。出荷時、電池は送信器に内蔵しています。

20-1 初めての登録方法



コントロールボックス



- ① 電動支柱のコントロールカバーをはずしてください。
- ② リモコン受信器の初期スイッチを「ON」にしてください。

補足

- 電源表示灯が点滅(緑色)します。(A図参照)
- 点滅しない場合は、初期スイッチを一度「OFF」にし、もう一度「ON」側にします。

- ③ リモコン受信器の近くで、登録するリモコン送信器の「停止」ボタンを押してください。(B図参照)

補足

- リモコン受信器の受信確認灯「停」が点灯(赤色)し、送信器登録が完了します。(C図参照)

- ④ リモコン送信器の登録完了後、リモコン受信器の登録ボタンを押して登録または電源表示灯が「点灯」に変わるまで待ってください。(D図参照)

補足

- 電源表示灯が「点灯」になり、受信器登録が完了します。

- ⑤ はずしたコントロールカバーを取付けてください。ネジの締め忘れのないように注意してください。

ポイント

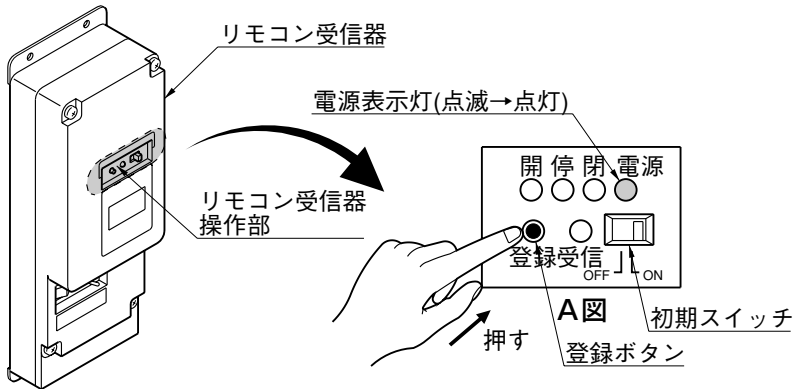
- 受信器への登録は、必ず電源表示灯が「点滅している1分間」に操作してください。
- 初期スイッチを「OFF」にすると、リモコン送信器の登録をすべて抹消します。登録が抹消した場合、リモコン送信器での操作はできなくなります。

20. つづき

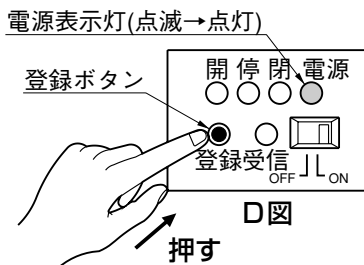
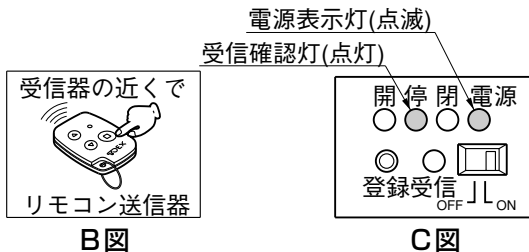
20-2 リモコン送信器を追加するときの登録方法

ポイント

- リモコン送信器を増やす場合、初期スイッチは「ON」の状態に登録してください。



コントロールボックス



ポイント

- リモコン送信器を増やす場合、初期スイッチは絶対に動かさないでください(「ON」側のままで固定)。「OFF」にすると、登録をすべて抹消し、リモコン送信器での操作はできなくなります。
- 受信器への登録は、必ず電源表示灯が「点滅している1分間」に操作してください。

- ① 電動支柱のコントロールカバーをはずしてください。
- ② リモコン受信器の登録ボタンを押してください。(A図参照)。

補足

- 電源表示灯が点滅(緑色)します。(A図参照)
 - リモコン送信器は、最大16個が「登録可能」です。
- ③ リモコン受信器の近くで、登録するリモコン送信器の「停止」ボタンを押してください。(B図参照)

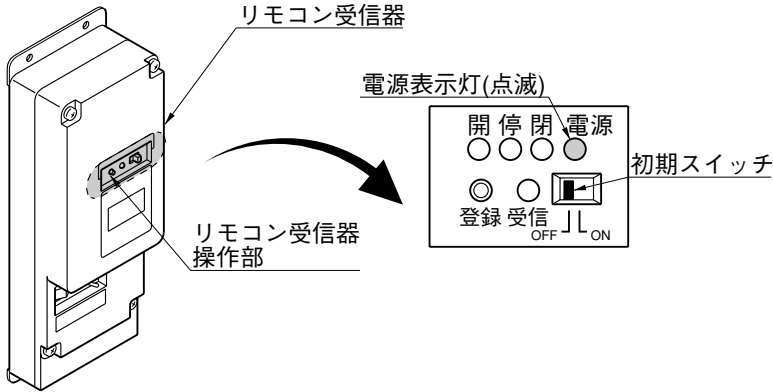
補足

- リモコン受信器の受信確認灯「停」が点灯(赤色)し、送信器登録が完了します。(C図参照)
- ④ リモコン送信器の登録完了後、リモコン受信器の登録ボタンを押して登録または電源表示灯が「点灯」になるまで待ってください。(D図参照)

補足

- 電源表示灯が「点灯」になり、受信器登録が完了します。
- ⑤ はずしたコントロールカバーを取付けてください。ネジの締め忘れのないように注意してください。

20-3 登録取り消し方法



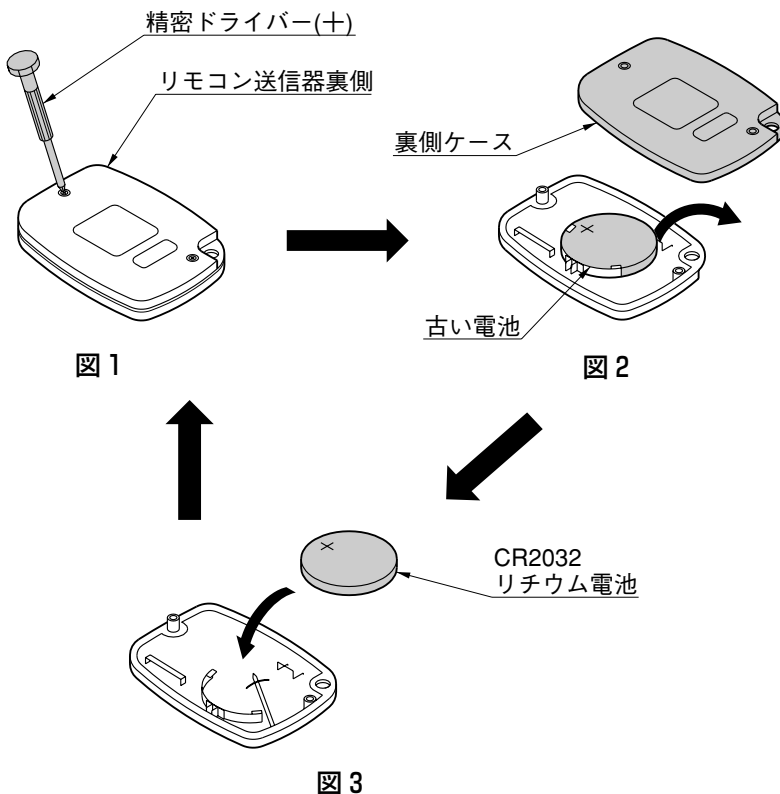
- ①すべての登録を取り消す場合は、リモコン受信器の初期スイッチを「OFF」側にしてください。

コントロールボックス

20-4 電池の交換方法について

補足

- リモコンの到達距離が短くなったり、動作表示灯が点滅しなくなった場合は、速やかに新しい「リチウム電池 C R 2032」に交換してください。
- 電池寿命は、1日10回(開・閉・停いづれか1操作/回)の使用で約5年です。



- ①リモコン送信器の裏側のネジ(2箇所)を精密ドライバー等ではずしてください。(図1参照)
- ②リモコン送信器の裏側のケースをはずし古い電池を取り出してください。(図2参照)
- ③新しい電池を「十マーク」が見える向き(上側)にはめ込んでください。(図3参照)
- ④はずしたケースを取付けてください。(図1参照)

ポイント

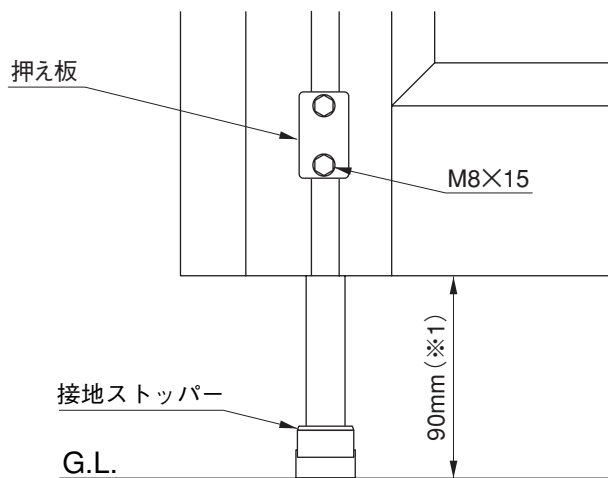
- 電池の極性「+、-」を確認の上セットしてください。
- 電池交換の際は、水分やほこり等が入らないように注意してください。また、回路部に触れぬようご注意ください。

21. 施工の確認

21-1 設置ストッパーの位置決め

- ① 電源支柱の電源スイッチカバーを開け電源をONにしてください。
「19-3電動支柱 電源の入れ方」を参照してください。
- ② 電動手動切替スイッチを電動側にしてください。
「19-4電動で動かないときの操作方法」を参照してください。

21-2 接地ストッパーの位置決め ※1 正規寸法で施工した場合、約90mmになります。



- ① 扉を電動で数回開閉してください。
- ② 数回開閉した後、全閉の状態では接地ストッパーを伸ばしG.L.面に軽く当たるように調節してください。

⚠ 注意

- モーターが停止する前に、接地ストッパーがG.L.面に当たらないように調節してください。停止位置はあらかじめ電装部内で決まっていますので、電動で扉を全閉した位置が停止位置になります。
- モーターが停止する前に、接地ストッパーがG.L.面に当たると安全装置が働き少し開いて停止します。
- 接地ストッパーを伸ばしすぎたり、引き込みすぎると駆動部が破壊、または耐久性能が低下するおそれがあります。

22. 仕様

AC100V仕様

項目	仕様
入力電圧	AC100V (50/60Hz)
消費電力(動作時平均)	8.4VA(1モータ)、16.8VA(2モータ)
モータ定格出力	10W
開閉時間	オーバードア 約16秒
	ワイドオーバードア1モータ 約20秒
	ワイドオーバードア2モータ 約16秒
操作方法	押しボタンスイッチ、リモコン
リモコン到達距離(見通し距離)	約10m

ソーラー仕様・トランス仕様

項目	仕様
入力電圧	DC12V
消費電力(動作時平均)	8.4VA(1モータ)、16.8VA(2モータ)
モータ定格出力	10W
開閉時間	オーバードア 約16秒
	ワイドオーバードア1モータ 約20秒
	ワイドオーバードア2モータ 約16秒
操作方法	押しボタンスイッチ、リモコン
リモコン到達距離(見通し距離)	約10m

⚠ 注意

- リモコン到達距離は、周囲の環境や電波障害などにより、短くなる場合があります。

取説コード

D322

KFR574781K
200210A_1001
200802K_1001